

平成30年度 シラバス

＝シラバス〈syllabus(英)〉とは、学校の教育活動に関する計画書のことです＝

必修教科9教科について、次の内容を記載します。

- ☆学習のねらい
- ☆使用教材
- ☆評価の観点および方法
- ☆1年間の学習計画
- ☆学習方法についてのアドバイス



平成30年度

川越町立川越中学校

もくじ

1年生	国語	・・・・・・・・	1	～	2
2年生	国語	・・・・・・・・	3	～	4
3年生	国語	・・・・・・・・	5	～	6
1年生	社会	・・・・・・・・	7	～	9
2年生	社会	・・・・・・・・	10	～	11
3年生	社会	・・・・・・・・	12	～	14
1年生	数学	・・・・・・・・	15	～	16
2年生	数学	・・・・・・・・	17	～	18
3年生	数学	・・・・・・・・	19	～	20
1年生	理科	・・・・・・・・	21	～	22
2年生	理科	・・・・・・・・	23	～	24
3年生	理科	・・・・・・・・	25	～	26
1年生	音楽	・・・・・・・・	27	～	28
2年生	音楽	・・・・・・・・	29	～	30
3年生	音楽	・・・・・・・・	31	～	32
1年生	美術	・・・・・・・・	33	～	34
2年生	美術	・・・・・・・・	35	～	36
3年生	美術	・・・・・・・・	37	～	38
1年生	保健体育	・・・・・・・・	39	～	41
2年生	保健体育	・・・・・・・・	42	～	46
3年生	保健体育	・・・・・・・・	47	～	49
1年生	技術	・・・・・・・・	50	～	51
2年生	技術	・・・・・・・・	52	～	53
3年生	技術	・・・・・・・・	54	～	55
1～3年生	家庭	・・・・・・・・	56	～	58
1年生	英語	・・・・・・・・	59	～	60
2年生	英語	・・・・・・・・	61	～	62
3年生	英語	・・・・・・・・	63	～	64

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	国語

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。
使用教材	教科書・国語便覧・学習漢字ノート・文法ワーク・国語ワークなど

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①国語への 関心・意欲・態度	- 授業の用意を整え、積極的に学習活動に取り組める。 - 予習や課題に取り組み、提出物は期限を守って出せる。 - ノートをわかりやすくまとめられる。 - 様々な分野の本に関心を持ち、進んで読書ができる。	- 授業中の意欲（態度・発表意欲） - ノート・課題などの提出状況 - 定期テストや漢字テストなど - 忘れ物、私語など
②話す・聞く	- 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりできる。 - 全体と部分、事実と意見との関係に注意して、話したり聞き取ったりできる。	- 授業中の様子 - 発表の内容 - 音読・朗読の技能 - 聞き取りテスト・暗唱テスト - スピーチ
③書く	- 身近な生活や学習の中から課題を見つけ、材料を集め、自分の考えをまとめられる。 - 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすくわかりやすい文章にすることができる。	- ノートや課題プリントなどの作成状況 - 作文、読書感想文など - 定期テスト
④読む	- 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解することができる。 - 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約することができる。 - 文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容を理解できる。	- ノート、課題などの提出物 - 朗読・音読 - 定期テスト
⑤言語についての 知識・理解・技能	- 言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。 - 意欲的に辞典を活用し、文中の語句の意味がわかる。 - 文字の字形を整え、大きさ、配列に気をつけて正しく書くことができる。	- ノート、課題などの提出物 - 定期テストや漢字テストなど - 書写（毛筆・硬筆）

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
言葉に出会うために 「野原はうたう」 1. 学びをひらく ・「花曇りの向こう」 ・わかりやすく説明しよう ・漢字1 漢字の組み立てと部首 2. 新しい視点へ ・「ダイコンは大きな根？」 ・「ちょっと立ち止まって」 ・話す・聞く「好きなもの」を紹介しよう ・言語1 話し言葉と書き言葉 3. 言葉をつなぐ ・詩の世界 ・文法①「言葉の単位」 4. つながりの中で ・「大人になれなかった弟たちに…」 ・漢字2 漢字の音訓 ・言語2 指示する語句と接続する語句 5. いにしえの心に触れる ・「いろは歌」 ・「月に思う」 ・「蓬萊の玉の枝」 ・「今に生きる言葉」 ・毛筆 ・文法②「文の組み立て」 6. 論点をとらえる ・「幻の魚は生きていた」 根拠を明確にして魅力を伝えよう 7. 自分を見つめて ・「少年の日の思い出」 ・言語3 さまざまな表現技法 ・漢字3 漢字の成り立ち ・毛筆 ・文法③「単語の分類」「体言」	①作品に親しもうとしている。 ②くり返し音読・朗読することで、語感を磨き、リズムを楽しめる。 ②話の構成や展開を考えて聞き分け、ノートにまとめられる。 ③事実と考察の関係に着目して論理の展開を読み取り、自分の考えを書くことができる。 ③全体の構成を考え、表現を工夫して文章を書くことができる。 ④作者の物の見方などをとらえることができる。 ④登場人物の行動から、気持ちの変化をとらえることができる。 ⑤漢字の字形を組み立てと部首から理解し、書体についての知識を深めている。 ⑤字形・文字の大きさなどに注意して楷書や行書が書ける。 ⑤言葉の単位について理解している。 ①作品に親しもうとしている。 ①古典の世界に親しもうとしている。 ②古典を音読、暗唱することで、歴史的仮名遣い、難語句、古文のリズムなどに気をつけて読むことができる。 ②伝える目的に応じて、情報を検索したり選択したりし、正しく話そうとしている。 ③わかりやすく伝えるために項目を整理してまとめることができる。 ④展開に即して、人物の置かれていた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取ることができる。 ⑤字形・文字の大きさなどに注意して楷書や行書が書ける。 ⑤文の組み立てについて理解している。 ①詩歌に親しもうとしている。 ②情報を検索したり選択したりし、正しく話す力を身につけている。 ③読みやすく、わかりやすい文章になるよう工夫して書くことができる。 ③全体の構成を考え、表現を工夫して文章を書くことができる。 ④展開に即して、人物の置かれていた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取ることができる。 ④主題を考えながら、展開に注意して読み進めることができる。 ⑤漢字の成り立ちと構成を理解している。 ⑤字形・文字の大きさなどに注意して楷書や行書が書ける。 ⑤単語の分類と体言について理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・忘れ物をせず、授業に集中して取り組みましょう。 ・人の意見はしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しましょう。 ・板書はていねいにノートにまとめ、配られたプリント類は保管して見直しましょう。 ・図書室を利用するとともに、朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
	家庭	・教科書を繰り返し、音読しましょう。 ・わからない漢字や語句は、こまめに辞典で調べましょう。 ・漢字学習ノートを利用し、根気よく漢字学習に取り組みましょう。 ・本や新聞などを積極的に読みましょう。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	国語

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を通して生活に役立てようとする態度を育てる。
使用教材	教科書・国語便覧・漢字学習ノート・文法ワーク・国語ワークなど

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①国語への 関心・意欲・態度	- 授業の用意を整え、積極的に学習活動に取り組める。 - 予習や課題に取り組み、提出物は期限を守って出せる。 - ノートをわかりやすくまとめられる。	- 学習活動への参加の仕方や態度 - 課題の提出状況と内容 - ノートやワークなどの作成状況 - 定期テストや評価テスト - 授業中の様子
②話す・聞く	- 話し手のものの見方や考え方をしっかり聞き、自分の考えを広げたり深めたりできる。 - 自分の意見を、適切な声の大きさ、速さ、態度で相手に伝えられる。 - 文章の内容や特徴をとらえて、朗読することができる。	- 課題の提出状況と内容 - 定期テストや評価テスト - 聞き取りテスト、朗読テスト - スピーチ - 授業中の様子
③書く	- 課題に対する自分の立場や、伝えたい事柄がはっきり書ける。 - 文章の内容が相手に効果的に伝わるよう、表現を工夫して書ける。	- 課題や作品の提出状況と内容 - ノートや課題プリントなどの作成 - 定期テストや評価テスト - 作文
④読む	- 文章の構成や展開、説明や描写などに注意して読むことができる。 - 文中の効果的な表現に注目し、自分の言葉づかいに役立っている。 - 文章の内容を理解し、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見が持てる。	- 課題の提出状況と内容 - ノートやワークなどの作成状況 - 定期テストや評価テスト
⑤言語についての 知識・理解・技能	- 漢字の読み書きが正確にでき、言葉のきまりが理解できる。 - 文字の字形を整え、大きさ、配列に気をつけて正しく書くことができる。	- 課題や作品の提出状況と内容 - ノートや課題プリントなどの作成状況と内容 - 定期テストや評価テスト - 漢字テスト - 書写（毛筆・硬筆）

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
広がる学びへ 「見えないだけ」 「アイスプラネット」 「枕草子」 漢字（熟語） 多様な視点から 「生物が記録する科学」 言語（類義語、多義語、対義語） 言葉と向き合う 「新しい短歌のために」 ・文法 書写 関わりの中で 「盆土産」 「字のない葉書」 「モアイは語る」 言葉（敬語） いにしへの心を訪ねる 「平家物語」 「扇の的」 「仁和寺にある法師」 「漢詩の風景」 漢字（同じ音・訓の漢字） 論理を捉えて 「君は「最後の晩餐」を知っているか」 ・文法 書写 表現を見つめて 「走れメロス」 「表現のしかたを工夫して書こう」 「科学はあなたの中にある」 漢字（送り仮名） 文法 書写	①好きな言葉や表現を見つけ、声に出して読むことができる。 ①本を読む楽しさを知り、さまざまな作品や文章を読もうとしている。 ①進んで聞き取り活動や話し合い活動に参加し、正確に聞き取る力や聞き分ける力をつけようとしている。 ②必要な情報を的確に聞き取り、要点をとらえることができる。 ③事実と考察の関係に着目して論理の展開を読み取り、自然や社会についての自分の考えを書くことができる。 ④短歌のもつリズムに親しみ、表現の美しさを読み味わうことができる。 ④情景描写に着目し、人物の気持ちを読み取ることができる。 ⑤対義語・類義語の意味や用法を理解している。 ⑤自立語と付属語の意味や用法の違い、活用の有無について理解している。 ⑤表現技法を意識する。 ⑤漢字の構成を理解している ⑤熟語の成り立ちと用法を理解している。 ①登場人物それぞれの人柄や思いに心を寄せて読もうとしている。 ①古典特有の表現を声に出して読み、言葉の響きや調子を楽しもうとしている。 ①本を読む楽しさを知り、さまざまな作品や文章を読もうとしている。 ②目的に応じて情報を収集・選択し、話の構成や語句・表現を工夫して効果的に伝えることができる。 ③昔の人のものの見方や考え方にふれ、自分の意見をまとめることができる。 ④文章の構成や展開について根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。 ④場面描写や表現に沿って登場人物の人柄や心情をとらえ、まとめることができる。 ④展開に即して、人物のおかれていた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取ることができる。 ④事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取り、自分の考えを広げ深めることができる。 ⑤自立語の位置や語形、働きを理解し、品詞に分類できる。 ⑤行書の書法を知り、美しさを味わいながら書くことができる。 ①作品世界や登場人物を自分なりにとらえ、進んで読もうとしている。 ③視点を定めて話題を整理し、表現や文体を工夫して書くことができる。 ④語句の使い方や、表現、文体の特徴に注意して読み、人物像の変化をとらえることができる。 ④作品を様々な視点からとらえ、理解を深めることができる。 ⑤用言の活用について理解している。 ⑤送り仮名の付け方の原則を理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	- 授業に集中して取り組み、人の意見はしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しましょう。 - 板書はていねいにプリントまたはノートにまとめ、配られたプリント類は保管して見直しましょう。 - 図書室を利用するとともに、朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	- 教科書を繰り返し、音読しましょう。 - わからない漢字や語句は、こまめに国語辞典で調べましょう。 - 漢字練習ノートを使って、漢字の予習・復習に取り組みましょう。 - 文法の予習・復習にも積極的に取り組みましょう。 - いろいろな表現を使った文章を書きましょう。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	国語

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○言葉を適切に表現し、文章を正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにして国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。 ○「話すこと・聞くこと」に関して、目的や場面に応じて的確に話したり、聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、言葉を豊かにしようとする態度を育てる。 ○「書くこと」に関して、様々なテーマを題材にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。 ○「読むこと」に関して、目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。
使用教材	教科書・国語便覧・漢字学習ノート・文法ワーク・国語ワークなど

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①国語への 関心・意欲・態度	・意欲的に授業に参加しようとしている。 ・自分の考えを持ち、発表しようとしている。 ・すすんで話したり、文章に書こうとしていたりしている。 ・聞くこと、読むことに意欲をもっている。 ・読書に親しみ、ものの見方や考えを広げようとしている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況
②話す・聞く	・自分の考えをまとめて話したり、相手を理解しようとして聞いたりすることができる。 ・内容を理解した上で、自分の意見や考えを発表することができる。 ・他人の考えや情報を正しく聞き取り、自分の考えを振り返っている。 ・相手に伝えようとする方法を意識して行っている。	・課題の提出状況と内容 ・定期テストや評価テスト ・聞き取りテスト ・スピーチ、暗唱 ・班活動中の様子
③書く	・必要な資料を集め、わかりやすく文章にまとめることができる。 ・自分の考えや思いをわかりやすい表現を使って書き表すことができる。 ・言葉のきまりを理解し、読みやすく正しい文字で書き表すことができる。	・課題や作品の提出状況と内容 ・ノートや課題プリントなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
④読む	・文章の筋道をとらえながら正確に読み、内容を理解することができる。 ・作品の要点や主題を読み取ることができる。 ・文章を読んで、自分の意見を持つことができる。 ・聞き手の聞きやすさを意識しながら音読できる。	・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
⑤言語についての 知識・理解・技能	・言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。 ・国語に関する基礎的な知識（語句・文法・漢字など）を理解し、適切な使い方ができる。 ・字形を整え、文字の大きさ、配列に気をつけて正しく書くことができる。	・定期テストや評価テスト ・ノートや課題などの提出物 ・書き方（毛筆・硬筆）

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1. 深まる学びへ ・「春に」 ・「握手」 ・「学びて時にこれを習ふ」 ・漢字1 熟語の読み方 2. 視野を広げて ・「月の起源を探る」 ・言葉1 和語・漢語・外来語 3. 言葉を見つめる ・「俳句の可能性」 ・「俳句を味わう」 ・「『批評』の言葉をためる」 ・文法への扉1 4. 状況の中で ・「挨拶」 ・「故郷」 ・言葉2 慣用語・ことわざ・故事成語 ・漢字2 漢字の造語力 5. いにしえの心と語らう ・「古今和歌集 仮名序」 ・「君待つと 万葉・古今・新古今」 ・「夏草 『おくのほそ道』から」 書写 6. 論旨を捉えて ・説得力のある文章を書こう ・文法への扉2 7. 未来へ向かって ・「誰かの代わりに」 ・「わたしを束ねないで」 ・漢字3 漢字のまとめ	①③俳句の基礎知識をもとに、季語を入れ、俳句を創作することができる。 ①本を読む楽しさを知り、さまざまな作品や文章を読もうとしている。 ②③内容に対して自分の考えをもち、意見交換したり、感想を書いたりすることができる。 ③ワークシートにそって、自分の気持ちを詩に表現できる。 ④作品の世界を現実の世界と対応させ、そのメッセージをとらえている。 ④俳句の特徴やきまりを理解し、作者の思いや考えを読み取っている。 ④詩に表現された情景を想像して朗読している。 ④表現や内容から登場人物の人柄や心情を読み取っている。 ⑤二字熟語の構成について理解する。 ①作品を適切な声で音読しようとしている。 ①作品に込められた作者の思いを考え、歌のリズムや響きを楽しみながら、音読しようとしている。 ①自分の意見をまとめようとしている。 ③⑤自分の主張をわかりやすくまとめ、語句、文末の表現に注意して文章を書いている。 ③字形に注意して、バランスよく丁寧に書いている。 ④事実と考察など、表現の仕方に注意して読むことができる。 ④表現や口語訳を参考に、作者の旅への憧れや人生観を読みとり、まとめている。 ⑤行書、草書の書法を知り、美しさを味わいながら書くことができる。 ⑤四字熟語の意味を知り、会話や作文の中で、使うことができる。 ⑤3年間で学習した文法を中心に内容を理解している。 ⑤紛らわしい単語について復習し、区別することができる。 ①登場人物をとりまく状況や時代背景を考えながら読もうとしている。 ①自分の意見をまとめようとしている。 ①文の中で文法上異なる働きをする単語を理解しようとしている。 ②自分の考えをまとめて話したり、相手を理解しようとして聞くことができる。 ③⑤自分の主張をわかりやすくまとめ、語句、文末の表現に注意して文章を書いている。 ④登場人物の心情を読みとることができる。 ④⑤文のきまりを理解し、書き下し文などを読むことができる。 ⑤言葉と言葉の関係に注意して、熟語を覚えることができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・授業に集中して取り組み、人の意見はしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しましょう。 ・板書はていねいにノートにまとめ、配られたプリント類は保管して見直しましょう。 ・図書室を利用するとともに、朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	・教科書を繰り返し、音読しましょう。 ・わからない漢字や語句は、こまめに国語辞典で調べましょう。 ・漢字練習ノートを使って、漢字の予習・復習に取り組みましょう。 ・本や新聞などを積極的に読みましょう。 ・いろいろな表現を使った文章を書きましょう。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	社会科（地理・歴史）

1. 学習のねらいと使用教材

地理分野	○日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。 ○日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとかかわり度とらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。 ○地図や統計、映像など地域に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した課程や結果を地図化したり、報告書などにまとめたり、発表や討論を行なったりすることができる。 ○地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。
歴史分野	○歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野にたって我が国の文化と伝統について考え、国民としての自覚を育てる。 ○歴史的事象から課題を見出し、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。 ○歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。 ○身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
使用教材	教科書：中学生の地理（帝国書院） 新しい社会歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 副教材：グラフィックワイド地理（とうほう） ビジュアル歴史（とうほう） 地理の学習 地理 世界（浜島書店） 歴史の学習 1（浜島書店）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組もうとしている。」 - 意欲的に発言・作業活動に取り組もうとしている。 - 学習の準備や課題を期日までに提出しようとしている。 - 世の中の様々な事柄に興味をもっている。	- 観察（授業態度・発言） - 課題などの提出状況 - ノートの整理 ・ 自己評価 - テスト（定期テスト・小テスト）
② 社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ、表現できる。」 - 多面的に考察することができる。 - 事実を結びつけたり予想したりすることで筋道を立てた発言ができる。 - 予想や事実を含め、理論立てて記述、論述できる。	- 観察 - 課題 - ノート - テスト
③ 資料活用の技能	「資料を正しく読み取るとともに、適切に選択し活用できる。」 - 地図、統計、図表、史料を正確に読み取ることができる。 - 課題を追究することに必要な資料を収集し活用できる。 - 資料を活用したり、図表にまとめたりできる。	- 観察 - 課題 - ノート - テスト
④ 社会的事象についての知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 - 基本用語を理解し、正しく漢字で書き、説明することができる。 - 社会的事象の因果関係や基本的背景が理解できる。	- 課題 - テスト

3. 学習計画 【前期地理 後期歴史】

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
地理分野	第1部 世界のさまざまな地域 1章 世界の姿 1,地球をながめて 2,いろいろな国の国名と位置 3,緯度と経度 4,地球儀と世界地図の違い 2章 世界各地の人々の生活と環境 1,世界のさまざまな生活と環境 2,暑い地域の暮らし 3,乾燥した地域の暮らし 4,温暖な地域の暮らし 5,寒い地域の暮らし 6,高地の暮らし 7,世界各地の衣食住とその変化 8,宗教と生活とのかかわり 3章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州 4章 世界のさまざまな地域の調査 1 調査テーマを決めよう 2 資料を集めて調べよう 3 調査結果をまとめよう 4 調査結果を発表しよう 第二部 4章 身近な地域の調査	①世界の地域構成の枠組みについて関心を高め意欲的に追究しとらえようとしている。 ②世界の地域構成を、緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などをとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③地球儀や世界地図に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったりまとめたりしている。世界の地域構成をふまえて大まかに世界の略地図を描いている。 ④世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身につけている。 ①世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。 ②世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活のようすとその変容をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につけている。 ①世界の諸地域の地域的特色に関する関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。 ②世界の諸地域の特徴を各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④世界の諸地域について、各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 ①世界のさまざまな地域の調査とその地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ②世界のさまざまな地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世界のさまざまな地域の調査を行う視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界のさまざまな地域の調査とその地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④世界のさまざまな地域の調査について、地域的特色とともに、世界のさまざまな地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につけている。
歴史分野	第1章 歴史の流れをとらえよう 第2章 古代までの日本 1節 文明のおこりと宗教のおこり 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界 第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 2節 東アジア世界との関わりと社会の変動 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	①日本の歴史の大きな流れや時代の特徴に対する関心を高め、意欲的に学習している。 ②日本の歴史の大きな流れや時代の特徴を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③日本の歴史の大きな流れや各時代の特徴に関する様々な資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている。 ④時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。 ①世界の古代文明や宗教のおこりに関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究している。 ②古代文明の特徴や宗教のおこりや古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについて、資料を収集し、情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ①武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ②武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわり、文化の特徴などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解するとともに、中世の文化の特徴と、その中に現在に結び付くものがみられることに気付く、その知識を身に付けている。 ①近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ②近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、世界の動きと時代の特徴を多面的・多角的に考察し判断している。 ③近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する資料を収集し、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。 ④近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	• 今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。 • わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。 • わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなどして、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。 • ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。 • 学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。 • ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。
	家庭	• 学習したことは、その日のうちに復習しましょう。 • 教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。 • ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。 • テストで間違えた問題は復習しましょう。 • 普段から、新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味を持ったりしたことがらはすぐに調べる習慣をつけましょう。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	社会科（地理・歴史）

1. 学習のねらいと使用教材

地理分野	○地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野にたって我が国の国土の特色についての認識を養おうとする。 ○地理的事象から課題を見出し、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連づけて多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。 ○地図や統計、映像など地域に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した課程や結果を地図化したり、報告書などにまとめたり、発表や討論を行なったりすることができる。 ○世界と日本の地域構成、地域の規模に応じてとらえた地域的特色、世界と比べてみた日本の地域的特色などを理解し、その知識を身につけている。
歴史分野	○歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野にたって我が国の文化と伝統について考え、国民としての自覚を持とうとする。 ○歴史的事象から課題を見出し、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特徴などを多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。 ○年表や歴史地図、映像など歴史に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果を年表や報告書などにまとめたり、発表や討論を行なったりすることができる。 ○我が国の歴史の大きな流れと各時代の特徴などを我が国の歴史と関連のある世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。
使用教材	教科書：中学生の地理（帝国書院） 新しい社会歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 副教材：ビジュアル地理（とうほう） ビジュアル歴史（とうほう） 社会の学習 地理編(明治図書) 社会の学習 歴史編(明治図書)

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組もうとしている。」 ・意欲的に発言・作業活動に取り組もうとしている。 ・学習の準備をし、課題を期日までに提出しようとしている。 ・世の中の様々な事柄に興味をもっている。	・観察（授業態度・発言） ・課題などの提出状況 ・ノートの整理 ・自己評価 ・テスト
② 社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ、表現できる。」 ・多面的に考察することができる。 ・事実を結びつけたり予想したりすることで筋道を立てた発言ができる。 ・予想や事実を含め、理論立てて論述できる。	・観察 ・課題 ・ノート ・テスト
③ 資料活用の技能	「資料を正しく読み取るとともに、適切に選択し活用できる。」 ・地図、統計、図表、史料を正確に読み取ることができる。 ・課題を追究することに必要な資料を収集し活用できる。 ・資料を活用したり、図表にまとめたりできる。	・観察 ・課題 ・ノート ・テスト
④ 社会的事象についての知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 ・基本用語を理解し、正しく使うことができる。 ・社会的事象の因果関係や基本的背景が理解できる。	・テスト ・課題

3. 学習計画（歴史分野・地理分野）

	主な内容	観点別評価の具体例
地 理 分 野	第2部 日本のさまざまな地域 4章 身近な地域の調査 1章 日本の姿 1節 世界の中での日本の位置 2節 時差でとらえる日本の位置 3節 日本の領域と領土問題 4節 都道府県と県庁所在地 5節 さまざまな地域区分 2章 世界と比べた日本の地域的特色 1節 自然環境の特色 2節 人口の特色 3節 資源や産業の特色 4節 地域間の結びつきの特色 3章 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方	①日本の地域構成に対する関心を高め追究しようとしている。 ②日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、地域区分などをもとに考察し表現している。 ③地球儀や地図など日本の地域構成に関する資料から、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。 ④日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、地域区分などから理解している。 ①世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め追究しようとしている。 ②世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきをもとに考察し表現している。 ③世界と比べた日本の地域的特色に関する資料から、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。 ④世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきについて理解し、その知識を身につけている。 ①日本の諸地域の地域的特色に関する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ②日本の諸地域の特色を各地域にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③日本の諸地域の地域的特色に関する資料を収集し、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。 ④日本の諸地域について、各地域にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。
歴 史 分 野	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 2節 江戸幕府の成立と鎖国 3節 産業の発達と幕府政治の動き 第5章 開国と近代の日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国 2節 明治維新 3節 日清・日露戦争と近代産業	①近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ②近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、世界の動きと時代的特色を多面的・多角的に考察し判断している。 ③近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する資料を収集し、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。 ④近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ①近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追及している。 ②近代日本が形成されていく過程を国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。 ③近代日本が成立していく過程を、近代に関する資料を活用し、追及した結果を読み取ったりまとめたりしている。 ④開国から明治維新を経て近代国家が形成され、近代文化が形成された過程を欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	- 今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。 - わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。 - わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなどして、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。 - ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。 - 学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。 - ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。
	家 庭	- 学習したことは、その日のうちに復習しましょう。 - 教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。 - ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。 - テストで間違えた問題は復習しましょう。 - 普段から、新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味を持ったりしたことがらはすぐに調べる習慣をつけましょう。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	社会科（歴史・公民）

1. 学習のねらいと使用教材

歴史分野	○歴史的事象に対する関心を高め意欲的に追究し、広い視野にたって我が国の文化と伝統について考え、国民としての自覚を持つとする。 ○歴史的事象から課題を見出し、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。 ○年表や歴史地図、映像など歴史に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究、考察した過程や結果を年表や報告書などにまとめ、発表や討論を行なったりすることができる。 ○我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを我が国の歴史と関連のある世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。
公民分野	○個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を身につける。 ○個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、社会の諸問題に着目し、自ら考えようとする。 ○国際関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国・各国民が協力し合うことが重要であることを認識し、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚する。 ○現代の社会事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択し、多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切に表現することができる。
教材	教科書：新しい社会歴史（東京書籍） 中学社会「公民的分野」（日本文教出版） 副教材：グラフィックワイド歴史（とうほう）歴史の学習（浜島書店） ビジュアル公民（とうほう）公民の学習（浜島書店）

2. 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組もうとしている。」 ・意欲的に発言・作業活動に取り組もうとしている。 ・学習の準備をし、課題を期日までに提出しようとしている。 ・世の中の様々な事柄に興味をもっている。	・観察（授業態度・発言） ・課題などの提出状況 ・ノートの整理 ・自己評価 ・テスト
②社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ、表現できる。」 ・多面的に考察することができる。 ・事実を結びつけたり予想したりすることで筋道を立てた発言ができる。 ・予想や事実を含め、理論立てて論述できる。	・観察 ・課題 ・ノート ・テスト
③資料活用の技能	「資料を正しく読み取るとともに、適切に選択し活用できる。」 ・地図、統計、図表、史料を正確に読み取ることができる。 ・課題を追究することに必要な資料を収集し活用できる。 ・資料を活用したり、図表にまとめたりできる。	・観察 ・課題 ・ノート ・テスト
④社会的事象の知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 ・基本用語を理解し、正しく使うことができる。 ・社会的事象の因果関係や基本的背景が理解できる。	・テスト ・課題

3. 学習計画（歴史・公民分野）

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
「歴史分野」 第5章 開国と近代日本の歩み 3 日清・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦とアジア・日本 2 世界恐慌と日本の中国侵略 3 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界 1 日本の民主化と国際社会への復帰 2 国際社会と日本 「公民分野」 第1編 私たちと現代社会 1 私たちが生きる現代社会の特色 2 現代社会の文化と私たち 3 現代社会をとらえる見方や考え方 第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法 1 法に基づく政治と日本国憲法 2 日本国憲法と基本的人権 3 日本の平和主義	①近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追究している。 ②近代日本が形成されていく過程を国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。 ③近代日本が成立していく過程を、近代に関する様々な資料を活動し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。 ④開国から明治維新を経て近代国家が形成され、近代文化が形成された過程を欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身に付ける。 ①二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。 ②日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。 ③写真や日記、記録などの資料や、表やグラフなどの客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ④二度の世界大戦の頃の日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。 ①個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付け、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つよう努めている。 ②戦後の日本の歩みについて考え、自分の意見を述べようと努めている。 ③表やグラフなどの資料を積極的に活用し、当時の生活を実感しようとしている。 ④終戦から現在に至るまでのできごとの概要について、世界の動きと関連させて理解し、終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の将来の課題を理解している。 ①少子高齢化やグローバル化など現代日本の社会はどのような特色を持ち、伝統や文化の影響を受けているのかについて意欲的に追究している。 ②現代日本の特色である少子高齢化、情報化、グローバル化など政治、経済、国際関係への影響や、日本の伝統文化の意義とその継承についてなどを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③写真や統計資料、聞き取り調査などの現代日本の社会の特色や、我が国の伝統と文化に関する様々な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ④少子高齢化、情報化、グローバル化といった現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、自国の伝統と文化を大切に、他国の伝統と文化を尊重することに気づいている。 ①様々な社会集団の一員として、家族、学校、地域の自治会、職場など様々な集団における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを守ることを意味を意欲的に追究している。 ②具体的事例をもとに、物事の決定の仕方や、決定したことを守ることにどのような意味があるのかについて、対立と合意、効率と公正といった見方や、考え方をを用いて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③物事の決定の仕方、きまりの意義に関する具体的な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④人間は社会的な存在であり、よりよい社会生活を営んでいくためにきまりや取り決めが必要であることを理解し、その知識を身に付けている。 ①基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方、法や法に基づく政治に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。 ②身近で具体的な事例を通して、日本国憲法に基づく政治によって国民の自由と権利が守られていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③人間の尊重についての考え方と法に関する様々な資料を収集し、その中から学習に役立つ情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④人権を守り社会生活を営む規範となることに法の意義があること、法に基づく政治によって基本的人権の保障を目指していること、日本国憲法の基本的原則を理解し、その知識を身に付けている。

第2章 国民主権と日本の政治 1 民主政治と政治参加 2 暮らしを支える地方自治 3 国の政治のしくみ	①国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、国や地方公共団体の仕組みや考え方について意欲的に追究するとともに、自ら主権者として主体的に政治に参画しようとする意欲を高めている。 ②議会制民主主義が我が国の政治の原則になっていること、主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に追究している。 ③調査や見学などによって、議会制民主主義や地方自治の仕組みについての様々な資料を収集し、自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方と、その考え方に基づく国や地方公共団体の政治の仕組みについての学習に役立つ情報を適切に選択し読み取ることや、図表などにまとめている。 ④地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、我が国の民主政治の仕組みのあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解し、その知識を身に付けている。
第3編 私たちの生活と経済 1 消費生活と経済のしくみ 2 生産の場としての企業 3 金融のしくみとお金の価値	①個人の消費生活に対する関心を高め、意欲的に追究し、個人の消費生活について考えようとしている。 ②市場経済の仕組みや価格について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③価格や消費生活に関わる様々な資料を収集し、有用な資料を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 ④経済活動の意義について消費生活を中心に理解するとともに、市場経済の基本的な考えについて理解し、その知識を身に付けている。 ①身近で具体的な経済的事象から、企業の生産活動、金融の動きについて関心を高め、それを意欲的に追究し、個人や企業の経済活動について考えようとしている。 ②企業の社会的責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、様々な立場から多面的・多角的に考察するとともに、生産のしくみや金融についても様々な視点から多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 ③企業の生産活動、金融などに関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 ④生産の仕組み、金融の種類や働きなどを理解し、その知識を身につけているとともに、企業の役割や社会的責任を理解し、その知識を身に付けている。
4 財政と国民の福祉	①国や地方公共団体の経済活動や財政について考えようとし、税の使い道などに理解と関心を深めるなど納税者としての自覚を持っている。 ②国や地方公共団体の果たす役割や課題・現代社会の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 ③財政の役割や国や地方公共団体の経済活動について情報を収集し適切に選択し、読み取ったり図などにまとめている。また、少子高齢化社会における社会保障について自分の問題として捉え、まとめたり説明したりしている。 ④社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。
第4編 私たちと国際社会 1 国家と国際社会 2 国際社会の課題と私たちの取り組み	①国際理解と国際協力に対して積極的に取り組む意欲を高め、世界平和を確立するための熱意と協力の態度が育ち、人間の生命の尊さ、平和の尊さを考えようとしている。 ②グローバル化してきた国際社会における我が国の役割、日本の国際貢献、世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などに関わる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③世界平和の実現と人類の福祉の増大に関わる国際社会の活動に関する資料を、様々な情報手段を活用して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 ④国際政治は国家間の対立の克服を試みるものであること、全ての国家の主権が相互に尊重されなければならないこと、地球環境、資源・エネルギー、貧困な課題に対しては、経済的、技術的な協力が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。
第5編 私たちの課題 一持続可能な社会をめざしてー	

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習	学 校	- 今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識を持って臨みましょう。 - わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。 - わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなどして、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。 - ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。 - 学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。 - ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。
方 法	家 庭	- 学習したことは、その日のうちに復習しましょう。 - 教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。 - ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。 - テストで間違えた問題は復習しましょう。 - 普段から、新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味を持ったりしたことがらはずぐに調べる習慣をつけましょう。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	数学

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○数を負の数まで拡張し、数についての理解を深める。また、文字を用いることのよさや方程式の意味を理解し、数量などの関係や法則を簡潔に表現し処理できるようにする。 ○具体的な事象を通して、比例・反比例の見方や考え方を深め、数量の関係を表現し考察する力を養う。 ○平面図形や空間図形について、観察・操作・実験などの活動を通して図形に関する見方や考え方を深め、理論的に考察する基礎を身につける。 ○目的に応じて資料を収集し、表やグラフに整理し、その資料の傾向を読み取る力を身につける。
使用教材	教科書 : 「未来へひろがる数学1」(啓林館) 問題集 : 「完成問題集」(三泗数研) 「よくわかる数学の学習①」(明治図書) 「計算のトレーニング80 1年」(浜島書店)

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①数学への 関心・意欲・態度	数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	- 授業中の学習活動への取り組み状況 - 問題集やプリントへの取り組み状況 - 提出物や宿題の内容
②数学的な 見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程をふり返り考えを深めている。	- 授業中の学習活動への取り組み状況 - 定期テスト - 操作活動中の思考内容 - 問題集の中での誤答分析
③数学的な技能	事象を数量・図形などで数学的に表現し、処理する仕方や推論の方法を身につけている。	- 授業中の学習活動への取り組み状況 - 定期テスト - 小テスト
④数量や図形などについての知識・理解	量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている	- 授業中の学習活動への取り組み状況 - 定期テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1章 正の数・負の数 § 1 正の数・負の数 § 2 正の数・負の数の計算 § 3 数の集合と四則	① 身の回りの事象を、正の数・負の数で表そうとする。 ② 数直線を用いて、加法・減法を説明できる。 ③ 正の数・負の数の加減乗除の計算ができる。 ④ $-$ (マイナス), $+$ (プラス), 正の数, 負の数, 自然数などの意味を説明することができる。
2章 文字の式 § 1 文字を使った式 § 2 文字式の計算 § 3 大小関係を表す式	① いろいろな数量を文字を使い表そうとする。 ② 文字式が書かれているとき、それがどのような数量を表しているか考えることができる。 ③ 一次式の加減乗除の計算ができる。 ④ 代入する、文字の値、式の値などの意味を説明できる。
3章 方程式 § 1 方程式 § 2 方程式の利用 § 3 比と比例式	① 等式の性質を使って、方程式を解くことができる。 ② 等式の性質を理解している。 ③ 方程式を利用して問題を解決しようとする。 ④ 方程式を利用して問題を解決し、その過程をふり返って考えることができる。
4章 比例・反比例 § 1 比例 § 2 反比例 § 3 比例・反比例の利用	① 身の回りの事象から、比例の関係を見つけようとする。 ② 2つの数量関係に着目し、変化や対応から比例の関係を見つけることができる。 ③ 比例の関係を式に表したり、グラフにしたりすることができる。 ④ 変数、定数、比例定数、変域などの意味を理解している。
5章 平面図形 § 1 直線図形と対応 § 2 基本の作図 § 3 円とおうぎ形 § 4 図形の移動	① ロゴや社章、道路標識などから図形の対象性に興味を持ち、いろいろな図形を対象性の観点から考察しようとする。 ② 線対称・点対称な図形の性質を理解している。 ③ 定規とコンパスだけを用いて、垂直二等分線、角の二等分線などの作図ができる。 ④ 直線図形や円・おうぎ形などの性質を理解している。
6章 空間図形 § 1 立体と空間図形 § 2 立体の表面積と体積 § 3 立体の投影図 § 4 球の表面積と体積	① 立体をどのようにみたり、表したりすれば表面積が考えやすいか調べようとする。 ② 立体を線分や平面図形を移動・回転してできる形として見ることができる。 ③ 立体の表面積・体積を、いろいろな場合において求めることができる。 ④ 表面積・底面積・側面積の用語や、角柱、円柱の表面積、角すい、円すいの表面積の求め方を理解している。
7章 資料の活用 § 1 資料の活用	① 資料から特徴を見つけようとしたり、資料を整理して傾向を調べようとしたりすることができる。 ② 資料を見て特徴をつかむことができる。 ③ 資料を整理することができる。 ④ 度数分布表やヒストグラムが理解できる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	- 課題について、まずは自分で考えよう。諦めずにやり切る姿勢を持とう。 - わからないときは、そのままにせず、友達や先生に自分からアクションを起こし、教えてもらおう。 - 質問をされたら、責任をもって教えよう。相手に分かりやすく伝えることも勉強の一つです。 - 先生や友達が説明するときは、集中して話を聴こう。
	家庭	- わからないことをそのままにせず、その日の学習内容を毎日復習しよう。 - 基本的な計算は繰り返し練習することで計算速度の向上や正答率の向上につながるので、積極的に計算問題に取り組もう。 - 完成問題集やワークは学習したところまで自分で取り組んで、学習内容が定着できるようにしよう。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	数学

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりできるようになるとともに、連立方程式について理解し、それを用いることができるようになる。 ○具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解し、関数関係を見出し表現・考察する能力を養う。 ○基本的な平面図形の性質について理解を深めるとともに、数学的な推論の意義と方法を理解し、推論の過程を的確に進めることができるようにする。 ○具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を身につけさせる。
使用教材	教科書：『未来へひろがる数学2』（啓林館） 問題集：『完成問題集』（三泗数学研究会） 『よくわかる数学の学習2』（明治図書） 『計算のトレーニング80 2年』（新学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①数学への 関心・意欲・態度	数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	- 授業中の学習活動への取り組み状況や毎時間の宿題への取り組み方 - 完成問題集などの提出物の取り組み状況
②数学的な 見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考える。	- プリントなどの記述内容 - 定期テストや小テスト - 操作活動中の思考内容
③数学的な技能	数量・図形などで数学的な表現処理する能力を身につけている。	定期テストや小テスト
④数量や図形などについての知識・理解	量・図形などについての基本的な概念や原理法則を理解し、知識を身につけている。	定期テストや小テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1章 式の計算 1. 式の計算 2. 文字式の利用	1. 数量の関係や数の性質を文字式を使って明らかにしていこうとする。 2. 数量の関係や数の性質を文字で表して考察することができる。 3. 文字式の簡単な計算ができる。 4. 用語の意味を説明できる。
2章 連立方程式 1. 連立方程式 2. 連立方程式の利用	1. 連立方程式を利用して、問題を解決しようとする。 2. 課題から連立方程式を導き、その解の意味を考察することができる。 3. 加減法や代入法によって、連立方程式をとくことができる。 4. 消去する、加減法・代入法の意味を理解している。
3章 一次関数 1. 一次関数とグラフ 2. 一次関数と方程式 3. 一次関数の利用	1. 身のまわりの事象の中から、一次関数と見られるものを見つけようとする。 2. 変化の割合について理解することができる。 3. 一次関数のグラフをかくことができる。 4. 一次関数のグラフの傾きと切片の意味やグラフの特徴などを理解している。
4章 図形の調べ方 1. 平行と合同 2. 証明	1. 2つの三角形がどんな場合に合同になるかを考えられる。 2. 図形の性質を、すじ道を立てて説明することができる。 3. 基本的な角度の問題で答えを求めることができる。 4. 合同な図形の性質や三角形の合同条件について理解している。 5. 三角形の合同条件を使って、基本的な証明の問題ができる。
5章 図形の性質と証明 1. 三角形 2. 四角形	1. 二等辺三角形・直角三角形の性質を理解して、それを使って問題を解こうとする。 2. 平行四辺形の定義から、三角形の合同条件などを用いて、平行四辺形の性質を導くことができる。 3. 平行線と面積の関係をj用いて、面積の等しい三角形を見つけることができる。 4. 定義・定理・逆などの意味を理解している。
6章 確率 1. 確率の意味 2. 場合の数と確率	1. 起こりえる場合を順序よく整理しようとする。 2. 場合の数を考えるときに、樹形図や表などを用いるよさに気づく。 3. 同様に確からしいときに、確率を求めることができる。 4. 確率の求め方・確率の意味について理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	- 授業の中では「聞く時間」「書く時間」「考えを共有する時間」のメリハリをつけよう。 - 疑問に思ったことや、理解できなかったことは後回しにせず、その場で解決しよう。 - 公式は「丸暗記」せず、例題を用いた解き方で理解しよう。 - 自分が理解したことは、他の人と共有しよう。教えることでさらに理解は深まります。
	家 庭	- 授業で出た宿題は、次の授業で一人一人チェックをします。 そのまま評価に反映していくのでしっかり取り組みましょう。 - 答えが合っていれば良いとせず、解き方や考え方を理解するまで繰り返し学習を進めましょう。 - 授業でやった内容を忘れてしまっは次の授業で出遅れます。 前回の復習＝次回の予習だと思って取り組みましょう。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	数学

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○数の平方根について理解し、数の概念について理解を一層深める。また文字式の計算に習熟し、二次方程式を解き、活用できるようになる。 ○具体的な事象を調べることを通して関数 $y = ax^2$ について理解し、関数関係を見出し、表現・考察する能力を伸ばす。 ○図形の円や相似や三平方の定理について、操作や実験を通して理解し、図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばす。また、見通しを持って論理的に考察し、表現する能力をさらに伸ばす。
使用教材	教科書：『未来へひろがる数学3』（啓林館） 問題集：『完成問題集3年』（三泗数学研究会） 『よくわかる数学の学習』（明治図書）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①数学への 関心・意欲・態度	数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・問題集等への取り組み状況 ・宿題への取り組み状況 ・定期的に行う提出物の提出状況（ワーク、完成問題集等）
②数学的な 見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り考えを深める。	・定期テスト ・プリント等の記述内容 ・授業での発言内容
③数学的な技能	事象を数量、図形などで数学的に表現し、処理する仕方や推論の方法を身に付ける。	・定期テスト ・プリント等の記述内容 ・授業での発言内容
④数量や図形などについて の知識・理解	量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。	・定期テスト ・授業での発言内容

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1章 式の展開と因数分解 § 1. 式の展開と因数分解 § 2. 式の計算の利用	①式の展開や因数分解を利用して、問題を解決しようとする。 ② $(a+b)(c+d)$ の展開や面積図から $(x+a)(x+b)$ の展開、平方の公式、和と差の積の公式を考えることができる。 ③乗法の公式を使って、式を展開することができる。 ④乗法の公式を理解している。
2章 平方根 § 1. 平方根 § 2. 根号をふくむ式の計算	①平方根の値を求めることに関心を持って取り組もうとする。 ②正方形の面積と一辺の長さの関係から、新しい数を見つけることができる。 ③根号をふくむ式の加減乗除の計算ができる。 ④平方根の意味を理解している。
3章 二次方程式 § 1. 二次方程式 § 2. 二次方程式の利用	①二次方程式を利用して問題を解決しようとする。 ②二次方程式を利用して問題を解決し、その過程を振り返って考えることができる。 ③因数分解を利用して、二次方程式を解くことができる。 ④二次方程式とその解、二次方程式を解くことの意味を理解している。
4章 関数 $y = ax^2$ § 1. 関数とグラフ § 2. 関数 $y = ax^2$ の値の変化 § 3. いろいろな事象と関数	①玉が落下する実験記録から、一次関数で表せない関係があることに関心を持つ。 ②関数 $y = ax^2$ の値の変化や対応を表によって調べ、その特徴を考えることができる。 ③関数 $y = ax^2$ のグラフをかくことができる。 ④放物線、放物線の軸、放物線の頂点の意味や、関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解している。
5章 図形と相似 § 1. 図形と相似 § 2. 平行線と線分の比 § 3. 相似な図形の計量 § 4. 相似の利用	①三角形の相似条件を理解している。 ②相似条件を用いて、2つの三角形が相似かどうかを考察することができる。 ③2つの図形が相似であることを、記号を使って表したり、相似比や対応する辺の長さを求めたりすることができる。 ④相似比、面積比、体積比を利用して、面積や体積を求めることができる。
6章 円の性質 § 1. 円周角と中心角 § 2. 円の性質の利用	①円周角と中心角の関係を理解する。 ②円の性質を根拠にした証明をすることができる。
7章 三平方の定理 § 1. 三平方の定理 § 2. 三平方の定理の利用	①三平方の定理を見出し、どんな直角三角形についても成り立つかどうか調べようとする。 ②面積の間に成り立つ関係を一般的に示し、辺の長さの関係としてとらえ直すことができる。 ③三平方の定理を使って辺の長さを求めたり、三平方の定理の逆を使って直角三角形であることを示したりすることができる。 ④三平方の定理やその逆の意味を理解している。
8章 標本調査 § 1. 標本調査 § 2. 標本調査の活用	①調査の目的に応じて、全数調査と標本調査のどちらが適切かを進んで考えようとする。 ②母集団の傾向を調べるのに、標本調査を行なうことの良さを説明することができる。 ③標本調査の結果から母集団の傾向を推測し、説明することができる。 ④標本調査の必要性和意味、無作為抽出の方法を説明することができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	- 課題について、まずは自分で考えよう。諦めずにやり切る姿勢を持とう。 - わからないときは、そのままにせず、友達や先生に自分からアクションを起こし、教えてもらおう。 - 質問をされたら、責任をもって教えよう。相手に分かりやすく伝えることも勉強の一つです。 - 先生や友達が説明するときは、集中して話を聴こう。
	家 庭	- わからないことをそのままにせず、その日の学習内容を毎日復習しよう。 - 基本的な計算は繰り返し練習することで計算速度の向上や正答率の向上につながるので、積極的に計算問題に取り組もう。 - 完成問題集やワークは学習したところまで自分で取り組んで、学習内容が定着できるようにしよう。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	理科

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○校庭や学校周辺の生物の観察を通して、いろいろな生物がさまざまな場所に生活していることに気づき、基本的な観察技能、観察記録のつけ方を身につける。 ○身近な植物についての観察・実験を通して、生物の調べ方を学習するとともに、植物の体のつくりやそのはたらきを理解し、植物の世界についての総合的な認識を深める。 ○身近でおこる光・音・力によるマクロな現象を、観察や実験をもとに解決していく過程を通して、それぞれの性質や規則性を理解する。 ○身の回りのさまざまな物質に興味・関心を持ち、物質の持つ基礎的・基本的な性質を理解するとともに、物質を区別するための実験における基礎的操作や技能を身につける。 ○大地の活動の様子や地形、地層、岩石などの学習を通して、地表に見られるさまざまな事物・事象を大地の変化と関連づけて見る見方や考え方を身につける。
使用教材	教科書：未来へひろがるサイエンス1 & マイノート(啓林館) 副教材：よくわかる理科の学習(明治図書) 理科便覧(浜島書店)

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①自然事象への関心・意欲・態度	身近な科学・自然に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを調べるとともに、生命を大切に、自然環境を保とうとする。	・学習活動への参加の仕方や、態度 ・プリント、ワークの作成、提出状況 ・授業での発言 ・定期テスト など
②科学的な思考・表現	身近な科学・自然に関する事物・現象の中に問題を見出し、解決方法を考えて、観察・実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを分析的、総合的に考えて、問題を解決する。	・観察・実験の考察 ・ノートの作成状況 ・授業での発言、表現方法 ・定期テスト など ・レポートの作成状況
③観察・実験の技能	身近な科学・自然に関する事物・現象についての観察・実験を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験の計画、実施、結果の記録・考察など、探求する過程を通して、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。	・実験・観察に対する態度、操作の仕方 ・スケッチ・作図 ・レポートの作成状況 ・パフォーマンステスト ・定期テスト など
④自然事象についての知識・理解	身近な科学・自然に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。	・定期テスト、小テスト など

3. 学習計画

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
生物分野	〔生命〕 植物のくらしとなかま	①生物の観察や植物に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、生命を尊重しようとする。 ②生物の観察や植物に関する事物・現象の中に問題を見い出し、解決方法を考えて、観察・実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを分析的、総合的に考察し、問題を解決する。 ③生物の観察や植物に関する事物・現象についての観察・実験を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験の計画、実施、結果の記録・考察など探求する過程を通して、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出し、創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④生物の観察や植物に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。
物理分野	〔エネルギー〕 光・音・力による現象	①光と音及び力の性質に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的に観察・実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連づけて考察しようとする。 ②光と音及び力の性質に関する事物・現象を調べる方法を考えて、観察、実験などを行ったり、規則性を見い出したりして問題を解決する。 ③光と音及び力の性質に関する事物・現象を調べる観察、実験を行い、観察、実験の基本操作や記録の仕方を身につけるとともに自らの考えを導き出し、創意ある観察、実験報告書の作成や発表を行う。 ④観察や実験などを通して、光と音及び力の性質に関する事物、現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
化学分野	〔物質〕 身のまわりの物質	①身の回りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的に観察・実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連づけて考察しようとする。 ②身の回りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象に問題を見い出し、解決方法を考えるなどして観察、実験を行ったり、事象の生じる要因や仕組みを科学的に考察したりして問題を解決する。 ③身の回りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象について観察、実験を行い、観察・実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、自らの考えを導き出し創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④身の回りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。
地学分野	〔地球〕 活きている地球	①地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、自然環境を保全しようとする。 ②地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象の中に問題を見い出し、解決方法を考えて観察・実験や調査を行い、事象の生じる要因や仕組みを時間、空間と関連づけて動的に見たりして問題を解決する。 ③地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象について観察・実験や調査を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験や調査の計画、実施、結果の記録・考察など探求する過程を通して規則性を見い出したり、自らの考えを導き出し、創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	- 授業の目標から、その授業の見通しを立てる。 - 授業中は集中できるようにする。 - 板書や自分で気づいたことなどを工夫してまとめる。 - 考えたことや思ったことを積極的に発表する。 - 実験・観察はていねいに安全に行う。 - 班活動を中心に、周りとのコミュニケーションをとりながら観察・実験をする。 - ファイル、レポート、ワークなどの提出物の期限を守る。
	家庭	- 授業で学習した内容を、その日にプリントを読み直したり、新たにまとめなおしたり、ワークを用いたりして復習する。 - 週末など時間があるときに授業で習ったところを教科書・プリントで復習し、ワークで確認する。 - 身近に起こる自然現象や科学について書籍やインターネットなどで調べる。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	理科

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○身近な動物の観察や実験を通して、動物の種類とその生活についての認識を深めるとともに、動物の体のつくりとはたらきを理解させる。また、この中で、生命尊重の態度を育てる。 ○化学変化における物質の変化や量的な関係を、実験を通して探求的に追究させるとともに、それらの現象を原子・分子のモデルを用いて微視的に考えることができるようにさせる。また、多様な実験操作を経験させるよい機会であり、安全かつ正確に化学実験を行う技能を身につけさせる。 ○日常生活との関連を図りながら、静電気や、電流と回路、電流の磁気作用などの実験を通して、電流の正体や電流の性質、電流のはたらきについて理解させる。 ○大気の動きを立体的にとらえて、天気変化のしくみや規則性をいろいろな気象データをもとにして理解させる。
使用教材	教科書：未来へひろがるサイエンス 2&マイノート(啓林館) 副教材：よくわかる理科の学習 2 (明治図書) CRE 2年 観点別ミニテスト (明治図書)

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①自然事象への関心・意欲・態度	身近な科学・自然に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを調べるとともに、生命を大切に、自然環境を保とうとする。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・プリント、ワークの作成、提出状況 ・自由研究の工夫 ・授業での発言 ・定期テスト など
②科学的な思考・表現	身近な科学・自然に関する事物・現象の中に問題を見出し、解決方法を考えて、観察・実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを分析的、総合的に考えて、問題を解決する。	・観察・実験の考察 ・プリント、ワークの作成、提出状況 ・授業での発言 ・定期テスト など
③観察・実験の技能	身近な科学・自然に関する事物・現象についての観察・実験を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験の計画、実施、結果の記録・考察など、探求する過程を通して、規則性を見出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。	・実験・観察に対する態度、操作の仕方 ・自由研究の工夫 ・スケッチ・作図・レポート ・定期テスト、小テスト など
④自然事象についての知識・理解	身近な科学・自然に関する事物・現象について理解し、知識を身につける。	・定期テスト、小テスト など

3. 学習計画

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
生物分野	〔生命〕 動物のくらしやなかまと生物の変遷	①身近な科学・自然に関する事物・現象に関心を持ち、生命を大切にし、自然環境を保とうとする。 ②動物の体のつくりと働き、動物の仲間に関する事物・現象について観察や実験を行ったり、事象の生じる要因や仕組みを科学的に考察したりして問題を解決する。 ③動物の体のつくりと働き、動物の仲間に関する事物、現象について観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験の計画、実施結果の記録・考察など探求する過程を通して、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意工夫のある観察・実験報告書の作成を行う。 ④動物の体のつくりと働き、動物の仲間に関する事物・現象について理解し、知識を身に付けている。
化学分野	〔物質〕 化学変化と原子・分子	①化学変化と原子、分子に関する事象・現象に関心を持ち、それらの事象を日常生活と関連付けて考察しようとする。 ②化学変化と原子、分子に関する事象・現象について観察や実験などを行ったり、事象の生じる要因や仕組みを科学的に考察したりして問題を解決する。 ③化学変化と原子、分子に関する事象・現象について観察や実験などを行い、基本操作を習得するとともに、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④化学変化と原子、分子についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
物理分野	〔エネルギー〕 電流の性質とその利用	①電流や電流の利用に関する事物・現象に関心を持とうとする。 ②電流や電流の利用に関する事物・現象の中に問題を見出し、その解決方法を考えて観察、実験などを行ったり、規則性を見出したりして問題を解決する。 ③電流や電流の利用に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得する。 ④基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
地学分野	〔地球〕 地球の大気と天気の変化	①気象観測や天気の変化に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、自然環境を保全しようとする。 ②気象観測や天気の変化に関する事物・現象の中に問題を見出し、解決方法を考えて観察、実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを時間、空間と関連付けて動的に見たりして問題を解決する。 ③気象観測や天気の変化に関する事物・現象について観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験の計画、実施結果の記録・考察など探求する過程を通して、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意工夫のある観察・実験報告書の作成を行う。 ④気象観測や天気の変化に関する事物・現象について理解し、知識を身に付けている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・授業中は集中できるようにする。 ・板書や自分で気づいたことなどを工夫してまとめる。 ・考えたことや思ったことを積極的に発表する。 ・実験・観察はていねいに積極的に安全に行う。 ・プリント、レポート、ワークなどの提出物の期限を守る。
	家庭	・授業で学習した内容を、その日にまとめなおしたり、ワークを用いたりして復習する。 ・週末など時間があるときに授業で習ったところを教科書で復習する。 ・実験結果や考察、注意点などがどのような形で問題化されるのか、その日にワークで確認する。 ・身近に起こる自然現象や科学について書籍やインターネットなどで調べる。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	理科

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○化学変化についての観察、実験を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解させるとともに、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けて見る見方や考え方を養う。 ○身近な生物についての観察、実験を通して、生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解させるとともに、生命の連続性について認識を深める。 ○物体の運動やエネルギーに関する観察、実験を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解させるとともに、日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を養う。 ○身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察させるとともに、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解させ、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。 ○自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、事前環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。
使用教材	教科書：未来へひろがるサイエンス3&マイノート（啓林館） 副教材：理科の自主学習3（新学社） 基礎基本3年（正進社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①自然事象への関心・意欲・態度	身近な科学・自然に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを調べるとともに、生命を大切にし、自然環境を保とうとする。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・プリント、ワークの作成、提出状況 ・授業での発言 ・定期テスト など
②科学的な思考・表現	身近な科学・自然に関する事物・現象の中に問題を見出し、解決方法を考えて、観察・実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを分析的、総合的に考えて、問題を解決する。	・観察・実験の考察 ・授業での発言 ・定期テスト など
③観察・実験の技能	身近な科学・自然に関する事物・現象についての観察・実験を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験の計画、実施、結果の記録・考察など、探求する過程を通して、規則性を見出し、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。	・実験・観察に対する態度、操作の仕方 ・スケッチ・作図・レポート ・パフォーマンステスト ・定期テスト など
④自然事象についての知識・理解	身近な科学・自然に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。	・定期テスト、小テスト など

3. 学習計画

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
化学分野	1 化学変化とイオン	①化学反応とイオンに関する事物・現象に関心を持ち、意欲的に観察、実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連付けて考察しようとする。 ②化学反応とイオンに関する事物・現象について調べる方法を考えて観察や実験などを行い、規則性を見い出したりして問題を解決する。 ③化学反応とイオンについての観察、実験を行い、観察、実験の基本操作を習得するとともに、規則性を見い出したり自らの考えを導き出して創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④化学反応とイオンについての基本的概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
生物分野	2 生命の連続性	①生物の殖え方に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、生命を尊重しようとする。 ②生物の殖え方に関する事物・現象の中に問題を見い出し、解決方法を考えて観察、実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを分析的、総合的に考察して問題を解決する。 ③生物の殖え方に関する事物・現象についての観察、実験を行い、観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画、実施、結果の記録・考察など探究する過程を通して、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④生物の殖え方に関する事物・現象について理解し、知識を身に付けている。
物理分野	3 運動とエネルギー	①運動の規則性に関する事物・事象に関心を持ち、意欲的に観察、実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連付けて考察しようとする。 ②運動の規則性に関する事物・事象について問題を見い出し、解決方法を考えて観察、実験などを行ったり、規則性を見い出したりして問題を解決する。 ③運動の規則性に関する事物・現象についての観察、実験を行い、観察、実験の基本操作を習得するとともに、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④運動の規則性に関する観察、事物・現象を行い、それらについての原理・法則や基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。
地学分野	4 宇宙の中の地球	①天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と惑星に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、自然環境を保全しようとする。 ②天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と惑星に関する事物・現象の中に問題を見い出し、解決方法を考えて観察、実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを時間、空間と関連付けて動的に見たりして問題を解決する。 ③天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と惑星に関する事物・現象に関する観察、実験を行い、観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画、実施、結果の記録・考察など探究する過程を通して、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と惑星に関する事物・現象に関して理解し、知識を身に付けている。
環境分野	5 自然と人間	①自然と環境、自然と人間に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、自然環境を保全し生命を尊重しようとする。 ②自然と環境、自然と人間に関する事物・現象の中に問題を見い出し、解決方法を考えて観察、実験や調査を行い、それらの事象を時間、空間と関連付けて動的に見たり、事象の生じる要因や仕組みを分析的、総合的に考察して問題を解決する。 ③自然と環境、自然と人間に関する事物・現象についての観察、実験や調査を行い、観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験や調査の計画、実施、結果の記録・考察など探究する過程を通して、規則性を見い出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④自然と環境、自然と人間に関する事物・現象について理解し、知識を身に付けている。 ①科学技術と人間のかかわりに関心を持ち、意欲的にそれらを調べたり探究しようとするとともにエネルギーの有効利用や環境との調和に心がけようとする。 ②科学技術と人間のかかわりについて問題を見い出し、解決方法を考えたり科学的に考察したりする。 ③科学技術と人間のかかわりについて観察、実験、調査、見学、ものづくりなどを行い、自らの考えを導き出した観察・実験報告書の作成や発表を行う。 ④観察、実験、調査、見学、ものづくりなどを通して科学技術と人間のかかわりについて理解し、基本的な知識を身に付けている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	- 授業中は集中できるようにする。 - 考えたことや思ったことを積極的に発表する。 - プリント、レポート、ワークなどの提出物の期限を守る。 - 板書や自分で気づいたことなどを工夫してまとめる。 - 実験・観察はていねいに安全に行う。
	家庭	- 授業で学習した内容を、その日にまとめなおしたり、ワークを用いたりして復習する。 - 週末など時間があるときに授業で習ったところを教科書やプリントで復習し、ワークで確認する。 - 身近に起こる自然現象や科学について書籍やインターネットなどで調べる。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	音楽

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 ○多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。
使用教材	教科書：中学生の音楽 1（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集「コーラス・フェスティバル」（音楽の友社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 音楽への関心・意欲・態度	- 忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 - 演奏、歌唱の際、集中して練習に取り組んでいる。 - 教師の指示やアドバイスを聞き、上達しようと努力している。	- 準備物の状況 - 毎回の授業の態度、姿勢 - 授業中の発言内容 - 実技テスト（歌、リコーダー） - 定期テスト及び小テスト - レポート
② 音楽表現の創意工夫	- アルトリコーダーを美しい音色で演奏することができる。 - 歌唱の声の質（響き）、発音、発声に工夫して取り組んでいる。 - 歌唱では歌詞の内容を表現することができる。 - プレス（息継ぎ）の仕方（場所、量）が音楽的である。 - 他の声部を意識しながら歌唱や演奏することができる。	- アルトリコーダーの音色、タンギングの様子 - 歌唱の際の、声の質（響き）、発声の様子、発音の工夫 - 毎回の授業での歌唱やリコーダーの演奏においての、フレーズのとらえ方やプレスの仕方 - 実技テスト（歌、リコーダー） - レポート
③ 音楽表現の技能	- アルトリコーダーの運指が正確である。 - アルトリコーダーのタンギングが正確である。 - 歌唱の音程が正確である。 - アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かすことができる。（音楽記号、標語の理解）	- アルトリコーダーの試験曲でのタンギングや運指の正確さ - 毎回の授業の様子（音程、リズム） - 実技テスト（歌、リコーダー）
④ 鑑賞の能力	- 範唱、範奏や仲間の演奏・発表を熱心に聴くことができる。 - 鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませることができる。 - 楽曲の雰囲気を感じ取ることができる。 - 楽曲の背景（作曲家、楽器等）の知識理解。	- 鑑賞中の態度 - 鑑賞のレポート - 定期テスト及び小テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
発声の基礎 ・発声練習（弓場メソッド） ・校歌 合唱の喜びⅠ ・夏の日の贈り物 イメージと音楽Ⅰ ・「今日の鑑賞曲」各曲 ・「春 第1楽章」 リコーダーの基礎Ⅰ ・かっこう ・喜びの歌 リコーダーの基礎Ⅱ ・カノンⅠ ・オーラリー ・オーラリー 合唱コンクール ・各クラスで選択した合唱曲 ※上記から選択して指導 詩と旋律 ・日本の歌（例：赤とんぼ） 合唱コンクール ・各クラスで選択した合唱曲 リコーダーの発展Ⅰ ・主人は冷たい土の中に アジアの諸民族の音楽 ・オルティンドー、ガムラン等 合唱の喜びⅡ ・大地讃頌 リコーダーの発展Ⅱ ・ラヴァース コンチェルト（A1） ・メヌエット前半 イメージと音楽 ・「魔王」 ※上記から選択して指導 リコーダーの発展Ⅲ ・メヌエット後半 合唱の喜びⅡ ・大地讃頌 日本の音楽 ・日本の楽器の響き 卒業式での合唱 ・校歌、旅立ちの日に ※上記から選択して指導	《全学期共通》 ①・忘れ物をせず、準備物をきちんと持ってきている。 ・毎回の授業に意欲的に取り組んでいる。 ・良い姿勢で歌やリコーダーの練習や演奏に取り組んでいる。 ・授業中に意欲的に発言できている。 ・実技テスト（歌、リコーダー）に意欲的に取り組んでいる。 ・定期テスト及び小テストに意欲的に取り組んでいる。 ②・アルトリコーダーの音色がやわらかく豊かである。 ・歌唱の声の質（響き）がやわらかく豊かである。 ・頭部を意識し、高く遠くを意識しての発声ができている。 ・歌唱の際に歌詞の意味を考え、明瞭な発音ができるよう工夫している ・毎回の授業での歌唱やリコーダーの演奏においての、フレーズを感じている。 ・適切な場所でブレスができている。 ・実技テスト（歌、リコーダー）で表情豊かに演奏できている。 ③・アルトリコーダーの練習や試験において、タンギングや運指が正確である。 ・毎回の授業の演奏の際に、音程やリズムが正確である。 ・アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かしている。 （音楽記号、標語の理解） ・実技テスト（歌、リコーダー）で楽譜の表記通りに演奏できている。 ④・鑑賞中の態度が適切で集中できている。 ・鑑賞のレポートをきちんと提出し、自分の感じたことをうまくまとめている。 ・鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませたりすることができている。 ・定期テスト及び小テストにおいて、作曲家についての詳細や、楽曲の歴史的背景をしっかりと理解し、知識としている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、着席して個人練習に取り組もう。 ・楽曲の演奏や練習に意欲的に取り組もう。また、顔や身体全体で表現しよう。 ・授業中は、教科書や楽譜を開け、どこを演奏しているのかを常に把握しよう。 ・授業中、楽曲の演奏に関してのアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめておこう。 ・記号や語句についての説明は、教科書にチェックして、その場で覚えていこう。
	家 庭	・授業で習った楽曲の、旋律や歌詞を確認しておこう。 ・リコーダーの演奏で授業中にできなかったところを、きちんと練習しておこう。 ・授業で習った記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	音楽

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 ○多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
使用教材	教科書：中学生の音楽2・3上（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集「レッツ・コーラス！」（音楽の友社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①音楽への関心・意欲・態度	- 忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 - 演奏、歌唱の際、集中して練習に取り組んでいる。 - 教師の指示やアドバイスを聞き、上達しようと努力している。	- 準備物の状況 - 毎回の授業の態度、姿勢 - 授業中の発言内容 - 実技テスト（歌、リコーダー） - 定期テスト及び小テスト - レポート
②音楽表現の創意工夫	- アルトリコーダーを美しい音色で演奏することができる。 - 歌唱の声の質（響き）、発音、発声に工夫して取り組んでいる。 - 歌唱では歌詞の内容を表現することができる。 - プレス（息継ぎ）の仕方（場所、量）が音楽的である。 - 他の声部を意識しながら歌唱や演奏することができる。	- リコーダーの音色、タンギングの様子 - 歌唱の際の、声の質（響き）、発声の様子、発音の工夫 - 毎回の授業での歌唱やリコーダーの演奏においての、フレーズのとらえ方やプレスの仕方 - 実技テスト（歌、リコーダー） - レポート
③音楽表現の技能	- アルトリコーダーの運指が正確である。 - アルトリコーダーのタンギングが正確である。 - 歌唱の音程が正確である。 - アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かすことができる。（音楽記号、標語の理解）	- リコーダーの試験曲でのタンギングや運指の正確さ - 毎回の授業の様子（音程、リズム） - 実技テスト（歌、リコーダー）
④鑑賞の能力	- 範唱や範奏や仲間の演奏や発表を熱心に聴くことができる。 - 鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらますことができる。 - 楽曲の雰囲気を感じ取ることができる。 - 楽曲の背景（作曲家、楽器等）の知識理解。	- 鑑賞中の態度 - 鑑賞のレポート - 定期テスト及び小テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
曲想の変化 ・夢の世界を 旋律の重なり方 ・翼をください イメージと音楽 ・「今日の鑑賞曲」各曲 合唱の響き ・大地讃頌 日本の音楽 ・荒城の月 バロック・鍵盤楽器の音楽 ・フーガ短調 リコーダーの発展1 ・カノン2 ・ラヴァース コンチェルト (A2) ※上記から選択して指導 言葉と旋律の関係 ・夏の思い出 世界の歌曲 ・サンタ ルチア 合唱コンクール ・各クラスで選択した合唱曲 オペラの名曲 ・アイダ他 オーケストラの響きと曲の仕組み ・交響曲第5番 ハ短調 作品67 日本の伝統音楽 ・勧進帳 ※上記から選択して指導 リコーダーの発展2 ・各自で自由に選んだ楽曲 合唱の喜び ・桜散る頃 ・君に会えたことに… ・あなたへ ・大地讃頌 世界の諸民族の音楽 ・京劇、ヒメネ等 卒業式での合唱 ・校歌、旅立ちの日に ※上記から選択して指導	《全学期共通》 ①・忘れ物をせず、準備物をきちんと持ってきている。 ・毎回の授業に意欲的に取り組んでいる。 ・良い姿勢で歌やリコーダーの練習や演奏に取り組んでいる。 ・授業中に意欲的に発言できている。 ・実技テスト（歌、リコーダー）に意欲的に取り組んでいる。 ・定期テスト及び小テストに意欲的に取り組んでいる。 ②・リコーダーの音色がやわらかく豊かである。 ・歌唱の声の質（響き）がやわらかく豊かである。 ・頭部を意識し、高く遠くを意識しての発声ができている。 ・歌唱の際に歌詞の意味を考え、明瞭な発音ができるよう工夫している ・毎回の授業での歌唱やリコーダーの演奏においての、フレーズを感じている。適切な場所でブレスができている。 ・実技テスト（歌、リコーダー）で表情豊かに演奏できている。 ③・リコーダーの練習や試験において、タンギングや運指が正確である。 ・毎回の授業の演奏の際に、音程やリズムが正確である。 ・アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かしている。 （音楽記号、標語の理解） ・実技テスト（歌、リコーダー）で楽譜の表記通りに演奏できている。 ④・鑑賞中の態度が適切で集中できている。 ・鑑賞のレポートをきちんと提出し、自分の感じたことをうまくまとめている。 ・鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませたりすることができている。 ・定期テスト及び小テストにおいて、作曲家についての詳細や、楽曲の歴史的背景をしっかりと理解し、知識としている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、着席して個人練習に取り組もう。 ・楽曲の演奏や練習に意欲的に取り組もう。また、顔や身体全体で表現しよう。 ・授業中は、教科書や楽譜を開け、どこを演奏しているのかを常に把握しよう。 ・授業中、楽曲の演奏に関してのアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめておこう。 ・記号や語句についての説明は、教科書にチェックして、その場で覚えていこう。
	家庭	・授業で習った楽曲の、旋律や歌詞を確認しておこう。 ・リコーダーの演奏で授業中にできなかったところを、きちんと練習しておこう。 ・授業で習った記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	音楽

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 ○多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
使用教材	教科書：中学生の音楽2・3下（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集「翼をください」（教育芸術社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 音楽への関心・意欲・態度	- 忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 - 演奏、歌唱の際、集中して練習に取り組んでいる。 - 教師の指示やアドバイスを聞き、上達しようと努力している。	- 準備物の状況 - 毎回の授業の態度、姿勢 - 授業中の発言内容 - 実技テスト（歌唱） - 定期テスト及び小テスト - レポート
② 音楽表現の創意工夫	- アルトリコーダーを美しい響きで演奏することができる。 - 歌唱の声の質（響き）、発音、発声に工夫して取り組んでいる。 - 歌唱では歌詞の内容を表現することができる。 - プレス（息継ぎ）の仕方（場所、量）が音楽的である。 - 他の声部を意識しながら歌うことができている。	- アルトリコーダーの音色、響き、タンギングの様子 - 歌唱の際の、声の質（響き）、発声の様子、発音の工夫 - 毎回の授業での歌唱においての、フレーズのとらえ方やプレスの仕方 - 実技テスト（歌唱） - レポート
③ 音楽表現の技能	- アルトリコーダーの運指、タンギング、音程が正確である。 - 歌唱の音程が正確である。 - 演奏表情が豊かである。 - アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かしている。（音楽記号、標語の理解）	- アルトリコーダーの試験曲での運指、タンギング、音程の正確さ - 授業中の歌唱での表情の豊かさ - 毎回の授業の様子（音程、リズム） - 実技テスト（歌唱）
④ 鑑賞の能力	- 範唱や範奏や仲間の演奏や発表を熱心に聴くことができる。 - 鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらますことができる。 - 楽曲の雰囲気を感じ取ることができる。 - 楽曲の背景（作曲者、楽器等）の知識理解。	- 鑑賞中の態度 - 鑑賞のレポート - 定期テスト及び小テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
日本の歌 ・「花」 合唱の喜び ・君に会えたことに… ・桜散る頃 合唱の発展1 イメージと音楽 ・「今日の鑑賞曲」各曲 ・合唱コンクールで歌う曲 (生徒の意見によって選択) 世界の諸民族の音楽 ・シタール、ツィター等 リコーダーの発展1 ・L-O-V-E] オーケストラの響きと曲の仕組み ・ブルタバ ※上記から選択して指導 合唱の発展2 文化祭と三沓音楽会で歌う曲 ・桜散る頃 ・君に会えたことに… ・合唱コンクール曲 リコーダーの発展2 ・威風堂々 ・ふるさと 日本の伝統音楽 ・越天楽 名曲を味わう ・交響曲第9番二短調作品125「合唱付き」 ※上記から選択して指導 バレエの名曲 ・白鳥の湖 協奏曲の名曲 ・ピアノ協奏曲(チャイコフスキー) ・ヴァイオリン協奏曲(メンデルスゾーン) 交響曲の名曲 ・レクイエム ・交響曲第9番「新世界より」 卒業式での合唱(式歌) ・校歌 ・大地讃頌 ・旅立ちの日に ※上記から選択して指導	《全学期共通》 ①・忘れ物をせず、準備物をきちんと持ってきている。 ・毎回の授業に意欲的に取り組んでいる。 ・良い姿勢で合唱の練習に取り組んでいる。 ・授業中に意欲的に発言できている。 ・実技テスト(歌唱)に意欲的に取り組んでいる。 ・定期テスト及び小テストに意欲的に取り組んでいる。 ②・歌唱の声の質(響き)がやわらかく豊かである。 ・頭部を意識し、高く遠くを意識しての発声ができている。 ・歌唱の際に歌詞の意味を考え、明瞭な発音ができるよう工夫している ・毎回の授業の歌唱において、フレーズをしっかりと感じている。また、適切な場所でブレスができている。 ・実技テスト(歌唱)で表情豊かに演奏できている。 ③・毎回の授業の歌唱の際に、音程やリズムが正確である。 ・アクセントやリズム、強弱を適切に歌唱に活かしている。 (音楽記号、標語の理解) ・実技テスト(歌唱)で楽譜の表記通りに演奏できている。 ④・鑑賞中の態度が適切で集中できている。 ・鑑賞のレポートをきちんと提出し、自分の感じたことをうまくまとめている。 ・鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませたりすることができている。 ・定期テスト及び小テストにおいて、作曲家についての詳細や、楽曲の歴史的背景をしっかりと理解し、知識としている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、学級での合唱練習に取り組もう。 ・合唱曲の練習に意欲的に取り組もう。また、顔や身体全体で表現しよう。 ・授業中は、教科書や楽譜を開け、どこを歌っているのかを常に把握しよう。 ・授業中、楽曲の演奏に関してのアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめておこう。 ・記号や語句についての説明は、教科書にチェックして、その場で覚えていこう。
	家 庭	・授業で習った楽曲の、旋律や歌詞を確認しておこう。 ・合唱で歌う歌をCD等に録音し、できる限り毎日聴こう。 ・授業で習った作曲者名、楽曲名、記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	美術

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を身につける。 ○対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身につけ、多様な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫して美しく表現する能力を身につける。 ○自然や美術作品などについての基礎的理解や見方を広げ、良さや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を身につける。
使用教材	教科書：『美術 1 出会いと広がり』（日本文教出版）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①美術への 関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身につけるために、主体的に学習に取り組もうとする。	・忘れ物、提出物の状況 ・授業態度や発言 ・準備物や道具の取り扱い、片付け ・定期テスト
②発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに想像し、形や色彩の構成などを工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。	・アイデアスケッチ ・制作過程 ・途中作品 ・完成作品 ・定期テスト
③創造的な技能	感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて材料や用具を生かしたり、制作の順序などを考えたりし、創意工夫して表している。	・制作過程の中での材料や用具の使用の様子 ・完成作品 ・定期テスト
④鑑賞の能力	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、生活の中の美術の働きなどを感じ取り見方を広げたり、美術文化の特性やよさに気付いたりしている。	・制作中の自己評価表 ・授業中の発言、発表 ・作品の感想 ・鑑賞プリント ・定期テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
図画工作、そして…美術へ 鉛筆で描く 見て感じて、描く 鑑賞との出会い 花の生命 楽しく伝える文字のデザイン	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備、片付けがきちんとできている。話を聞いている。 ②表現の技法を理解し、自分なりのイメージで豊かに発想し構想できる。 ③材料や用具の特性を生かした使い方など基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現できる。 ④作者の心情を理解し、作品のよさや美しさなどを感じ取ることができる。
色を学ぶ 三原色から生まれる色 出会って広げよう	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんとできている。話を聞いている。 ②対象を観察し、特徴や形をとらえ全体のバランスを考え構成できる。 ②表現方法を理解し、イメージを豊かに発想し構想できる。 ②独創的な造形感覚を生かして、豊かに発想し構想している。 ③基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現する。 ③材料や用具の特性を生かした使い方など基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現できる。 ④作者の心情を理解し、作品のよさや美しさなどを感じ取ることができる。
遠近感を表す 美しい構成と装飾 私が見つけた物語	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備、片付けがきちんとできている。話を聞いている。 ②表現方法を理解し、イメージを豊かに発想し構想できる。 ②独創的な造形感覚を生かして、豊かに発想し構想している。 ③基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現する。 ③材料や用具の特性を生かした使い方など基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現できる。 ④作者の心情を理解し、作品のよさや美しさなどを感じ取る。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・チャイムが鳴るまでに美術室に移動し、授業で必要な準備物を用意しておく。 ・授業中は先生の話をよく聞き、集中して取り組む。 ・教えられた技術を生かして自分の思い、考えを表現する。 ・集中して根気よく制作に取り組む。 ・作品、プリントなど提出期限は守る。
	家 庭	・日常から身近なものや美術作品に興味を持ち、ふれる機会をつくる。 ・身近なものの中での美術的な部分や美術作品に興味を持ち、自分の作品に生かす。 ・授業中に学んだことを確認しておく。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	美術

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○自らを見つめ、自らを表現し、自分らしさやそのよさに気付くとともに、個性的な表現を通して一人一人の違いとそのよさに気付くことができる。 ○身近にある造形や美術に関心を持ち、生活を美しく豊かにする美術の働きに気付くとともに、身の回りや生活の中で見つけた主題を表現したり、よりよい生活を美的に想像したりする態度と能力を養う。 ○自分たちが生きている社会や世界に目を向け、色や形や色彩による創造的なコミュニケーションなどを通して、豊かに社会と積極的にかかわる態度を育み、よりよい社会を展望し、その創造につながる態度と能力を培う。 ○自然の美しさや偉大さなどに心を向け、それらとの命のつながりや環境の大切さを感じとり、新しいかわりを模索することを通して、自然や生命、環境を大切にしようとする心情を培う。
使用教材	教科書：『美術2・3上 学びの深まり』『美術2・3下 美の探求』（日本文教出版）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①美術への 関心・意欲・態度	・美術に対する関心意欲を持って授業に取り組む。 ・表現方法などを工夫し、楽しみながら活動に取り組む。	・授業態度や発言 ・準備物や道具の取り扱い、片付け ・定期テスト
②発想や構想の能力	・課題をもとに感性や想像力をはたらかせて主題を発想し、構想を練る。 ・対象やものごとを深く見つめ、そのよさや美しさを感じ創造的な構成を工夫し、構想を練る。	・アイデアスケッチ ・制作過程 ・途中作品 ・完成作品 ・定期テスト
③創造的な技能	・制作する材料や道具を生かし、イメージしたものを表現する。 ・自分のイメージに合う表現方法を創意工夫し表現する。	・制作過程の中での材料や用具の使用の様子 ・完成作品 ・定期テスト
④鑑賞の能力	・自然や美術作品のよさや美しさを感じとり、味わう。 ・作品に対する理解や見方を広げる。 ・自分の制作を振り返り、客観的に自己の作品や制作態度を評価する。	・制作中の自己評価表 ・授業中の発言、発表 ・作品の感想 ・定期テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
情報をわかりやすく伝えよう	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんとできている。話を聞いている。
学びを深めよう	②対象を深く見つめ、感じとったことを自分なりに豊かに発想し構成できる。 ③材料や用具、表現方法の基礎的技能を身に付け創造的に表現ができる。 ④作者の心情や作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。
水墨画の技法	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんとできている。話を聞いている。
墨が生み出す豊かな世界	②対象を深く見つめ、感じとったことを自分なりに豊かに発想し構成できる。 ③材料や用具の特性を生かした使い方など基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現できる。 ④日本の美術や伝統と文化に対する理解を深め、作者の心情や作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。 ④歴史的背景や作者の心情、作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。
響き合う言葉と絵	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんとできている。話を聞いている。 ④歴史的背景や作者の心情、作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・チャイムが鳴るまでに美術室に移動し、授業に必要な準備物を用意しておこう。 ・授業中は先生の話をよく聞き、集中して取り組もう。 ・教えられた技術を生かして自分の思い、考えを表現しよう。 ・集中して根気よく制作に取り組もう。 ・作品、プリントなど提出期限は守ろう。
	家 庭	・日常から身近なものや美術作品に興味を持ち、ふれる機会をつくろう。 ・身近なものの中にある美術的な部分や美術作品に興味を持ち、自分の作品に生かそう。 ・授業中にできなかったことや学んだことを確認しておこう。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	美術

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 ○対象を深く観察する力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。 ○自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
使用教材	教科書：『美術2・3上 学びの深まり』『美術2・3下 美の探求』 (日本文教出版)、美術資料 三重県(秀学社)

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①美術への 関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとする。	・授業態度や発言 ・準備物や道具の取り扱い、片付け ・定期テスト
②発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。	・アイデアスケッチ ・制作過程 ・途中作品 ・完成作品 ・定期テスト
③創造的な技能	感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創意工夫して創造的に表している。	・制作過程の中での材料や用具の使用の様子 ・完成作品 ・定期テスト
④鑑賞の能力	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取って味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。	・制作中の自己評価表 ・授業中の発言、発表 ・作品の感想 ・定期テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
「ゲルニカ」は語る	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんできている。話を聞いている。
手づくりを味わう喜び	②表現方法を理解し、構図や背景などを考え構想できる。
心でとらえたイメージ	③材料や用具の特性を生かした使い方など基礎的技能を身につけ創意工夫して美しく表現できる。
豊かなイメージで伝えよう	④歴史的背景や作者の心情、作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。 ④作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。
私との対話	①忘れ物をしない。集中して学習に取り組んでいる。準備・片付けがきちんできている。話を聞いている。
あなたへ	④作品のよさ、美しさなど感じ取ることができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・チャイムが鳴るまでに美術室に移動し、授業に必要な準備物を用意しておこう。 ・授業中は先生の話をよく聞き、集中して取り組もう。 ・教えられた技術を生かして自分の思い、考えを表現しよう。 ・集中して根気よく制作に取り組もう。 ・作品、プリントなど提出期限は守ろう。
	家 庭	・日常から身近なものや美術作品に興味を持ち、ふれる機会をつくろう。 ・身近なものの中にある美術的な部分や美術作品に興味を持ち、自分の作品に生かそう。 ・授業中にできなかったことや学んだことを確認しておこう。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	保健体育（体育分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 ○運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。 ○運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。 ○運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。
使用教材	教科書：保健体育（大修館書店） 補助教材：ステップアップ中学体育（大修館書籍）、保健体育ノート 1 年（新学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①運動への関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとする。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習ノートの提出状況 ・学習カードの提出状況
②運動についての思考・判断	運動を豊かに実践するための課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。また、体力を高めるための組み合わせ方を工夫している。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習カードへの記述内容 ・学習ノートへの単元の振り返り
③運動の技能	運動の合理的な実践を通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	・学習活動への取り組み状況 ・スキルテスト
④運動についての知識・理解	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツが心身の発達に与える効果についての考え方を理解している。	・定期テスト ・単元ごとのテストも含む。

3. 学習計画（体育分野）

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
A 体づくり運動 ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動 ・準備運動 ・集団行動 ・新体力テスト	① 体づくり運動に興味・関心を持ち、意欲的に学習している。 ② 自己の体力や能力を知り、課題解決のための方法を考えて実践している。 ③ 準備運動や集団行動を正しく行うことができる。 ④ 運動やスポーツの必要性和楽しさ、準備運動の必要性や体力測定の方法を理解している。
C 陸上競技 ○短距離走（50m走・100m走） ・クラウチングスタート ・スタートダッシュ	① 短距離走やリレーに興味・関心を持ち、全力を出して競争したり記録を向上させようとしている。 ② 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し練習の仕方を選ぼうとしている。
D 水泳 ○クロール ・け伸び ・伏し浮き ・面かぶりクロール ・25mタイム測定・泳法確認	① 水泳に興味・関心を持ち、続けて長く泳いだり、速く泳いだりする楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫している。 ③ 泳法に応じた技能で泳ぐことができる。 ④ 技能のポイントや、ルールを知っている。
C 陸上競技 ○短距離走・リレー 100m 走区間のバトンパス、リレー	① クラウチングスタートやバトンパスの基本的な技能を身につけている。 ② 短距離走やリレーの特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。
B 器械運動 ○マット運動 ・前転 ・後転 ・開脚前転 ・開脚後転 ・壁倒立 ・補助倒立など	① マット運動の特性に興味・関心を持ち、日常では味わえない回転や逆さになることやわざができるようにすることに楽しさを味わおうとしている。 ② 自己の能力に応じた技を選び、課題を持って、練習を工夫している。 ③ 基本的な技は何度も反復練習したり、条件を変えたりしてでもできる。 ④ 練習の仕方や場の工夫、技のできばえの確かめ方を知っている。
F 武道 ○柔道 ・礼法 ・受け身 ・固め技 袈裟固め 横四方固め 上四方固め	① 柔道の特性に興味関心を持ち、進んで学習しようとしている。 ② 正しい基本動作で对人的技能の練習をすることができる。 ③ 受け身など基本的な技能が身についている。 ④ 柔道の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。
C 陸上競技 ○長距離走 ・ペース走（グループでの） ・1500m走・2000m走	① 長距離走に興味・関心を持ち、全力を出して競争したり記録を向上させようとしている。 ② 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し、練習の仕方を選ぼうとしている。 ③ ペース走・インターバル走の基本的な技能を身につけている。 ④ 長距離の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。
G ダンス ○現代的なリズムのダンス ・リズム取り ・基本のステップ ・模倣 ・創作 ・発表会と鑑賞	① ダンスに興味・関心を持ち、思いきり動く、リズムに合わせて踊るなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己やグループのテーマに適した課題を持ち、踊って確かめたり、見せ合ったりして動き方を選んだり見つけたりしている。 ③ リズムに合わせた動きを率直に表現したり、動きを組み合わせることができる。 ④ ダンスは個人や集団で表現したり交流したりすることが楽しい運動であることや、学習の進め方、よい動き、鑑賞の仕方を知っている。
E 球技 ○バレーボール ・オーバー・アンダーハンドパス ・アンダーハンドサービス ・円陣バレー ・ソフトバレーボール	① バレーボールに興味・関心を持ち、楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫している。 ③ 基本的なパスやサーブができる。 ④ 技能のポイントやルールを知っている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	1. 授業には積極的に参加する。 2. 準備・片付けなど協力し、すばやく行動する。 3. 健康・安全に留意し、けがや事故を防げるようにする。 4. 自己の課題の克服や記録への挑戦に努める。 5. 仲間と協力し、運動が楽しくできるように働きかける。
	家 庭	1. 規則正しい生活を心がける。 2. 食事・運動・休養のバランスを考えられるようにする。 3. 日頃からスポーツへの興味を高める。 4. 期末テスト前には、範囲を確認してしっかりと復習する。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	保健体育（保健分野）

1. 学習のねらいと使用教材

ねらい 学習の	○個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 ○調べ学習などの班活動を仲間とともに、意見を出し合いながら課題解決に向け、取り組む力を育てる。
使用教材	教科書：保健体育（大修館書店） 補助教材：ステップアップ中学体育（大修館書籍）、保健体育ノート 1 年（新学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 健康・安全への関心・意欲・態度	心身の機能の発達と心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習カードやプリントの記入、提出状況 ・宿題の提出状況
③ 健康・安全についての思考・判断	心身の機能の発達と心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決を目指して科学的に考え、判断し、それらを表している。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習カードやプリントの気づきなどの記入内容
④ 健康・安全についての知識・理解	心身の機能の発達と心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	・学習活動への取り組み状況 ・プリントへの記述 ・定期テストや小テスト

3. 学習計画（保健分野）

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1. 心身の機能の発達と心の健康 (1) 体の発育・発達 (2) 呼吸器・循環器の発育・発達 (3) 生殖にかかわる働き成熟 (4) 性への関心と行動 (5) 心の発達と社会性 (6) 自己形成 (7) 欲求と欲求不満 (8) 心と体のかかわり (9) ストレス対処と心の健康	① 心身の機能の発達や心の健康などについて、興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 心身の機能の発達や心の健康などについて、自分の経験をもとに課題を見つけて解決の方法を考えることや、学習したことを日常生活に当てはめることができる。 ③ 年齢とともに起こる各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあること、また思春期に起こる心身の変化や思春期が生殖機能の成熟や認識が深まる重要な時期であることを理解している。心身の健康を保つため、心身の調和を保つことの大切さや欲求やストレスに適切に対処する方法を知っている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	1. 健康の保持増進に興味・関心を持って生活をし、学習内容を日常生活に生かすことができるようにする。 2. 疾病予防のために心身の健康管理に心がける。 3. 学習ノートに板書などの記入しながら大切な事項を理解していく。
------	---

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	保健体育（体育分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 ○運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。 ○運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。 ○運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。
使用教材	教科書：保健体育（大修館書店） 補助教材：ステップアップ中学体育（大修館書店）、保健体育ノート2年（新学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①運動への関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとする	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習ノートの提出状況 ・学習カードの提出状況
②運動についての思考・判断	運動を豊かに実践するための課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。また、体力を高めるための組み合わせ方を工夫している。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習カードへの記述内容 ・学習ノートへの単元の振り返り
② 運動の技能	運動の合理的な実践を通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・スキルテスト
④運動についての知識・理解	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツが心身の発達に与える効果についての考え方を理解している。	・定期テスト ・単元ごとのテストも含む。

3. 学習計画（体育分野）

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
A 体づくり運動 ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動 ・準備運動 ・集団行動 ・体力テスト H 体育理論 ○運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全 C 陸上競技 ○ハードル走 ・クラウチングスタート ・ハードリング ・インターバルの走り方 D 水泳 ○クロール ○平泳ぎ C 陸上競技 ○短距離走、リレー ・バトンパス E 球技 ○ソフトボール ・キャッチボール ・バッティング ・簡易ルールของเกม B 器械運動 ○跳び箱運動 ・回転系 ・切り返し系 E 球技 ○バスケットボール ・ハンドリング ・パス、ドリブル ・シュート ・簡易ゲーム C 陸上競技 ○長距離走 2000m 走 F 武道 ○柔道 ・受け身の習得 ・投げ技練習 ・簡易ルールの試合	① 体づくり運動に興味・関心を持ち、意欲的に学習している。 ② 自己の体力や能力を知り、課題解決のための方法を考えて実践している。 ③ 準備運動や集団行動を正しく行うことができる。 ④ 運動の特性や学び方、準備運動の必要性や体力測定の方法を理解している。 ① ハードル走に興味・関心を持ち、全力を出して競争したり、記録を向上させようとしている。 ② 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し、練習の仕方を選んだりしている。 ③ クラウチングスタートやハードリングの基本的な技能ができる。 ④ ハードル走の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。 ① 水泳に興味・関心を持ち、続けて長く泳いだり、速く泳いだりする楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫している。 ③ 平泳ぎの泳法に応じた技能で泳ぐことができる。 ④ 技能のポイントや、ルールを知っている。 ① 短距離走やリレーに興味・関心を持ち、全力を出して競争したり、記録を向上させようとしている。 ② 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し、練習の仕方を選ぼうとしている。 ③ 短距離走やリレーの特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。 ① ソフトボールに興味・関心を持ち、攻防の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己やチームの能力に応じて課題を持ち、練習を工夫したり、作戦を立てたりしている。 ③ 今もっているピッチングやバッティングの技能を生かして、ゲームができる。 ④ ルールや競技方法を知っている。 ① 跳び箱運動の特性に興味・関心を持ち、日常では味わえない回転や逆さになることや技ができるようになることに楽しさを味わおうとしている。 ② 自己の能力に適した技を選び、課題を持って練習したり、技のできばえを確かめたりしている。 ③ 基本的な技は何度もくり返し、条件を変えてもできる。 ④ 練習の仕方や場の工夫によって、技能を習得する方法を知っている。 ① バスケットボールに興味・関心を持ち、シュートが決まる楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫している。 ③ 基本的なパスやシュートができ、ゲームをすることができる。 ④ 技能のポイントやルールを知っている。 ① 長距離走に興味・関心を持ち、全力を出して競争したり、記録を向上させようとしている。 ② 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し、練習の仕方を選ぼうとしている。 ③ ペース走・インターバル走の基本的な技能を身につけている。 ④ 長距離の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。 ① 柔道に興味・関心を持ち、すすんで学習しようとしている。 ② 正しい基本動作で相手と協力して練習をすることができる。 ③ 受け身など基本的な技能が身についている。 ④ 柔道の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	1. 授業には積極的に参加する。 2. 学習カードや学習ノートへの活用と記入を具体的にできている。 3. 準備・片付けなど協力し、すばやく行動する。 4. 健康・安全に留意し、けがや事故を防げるようにする。 5. 自己の課題の克服や記録への挑戦に努める。 6. 仲間と協力し、運動が楽しくできるように働きかける。
	家 庭	1. 規則正しい生活を心がける。 2. 食事・運動・休養のバランスを考えられるようにする。 3. 日頃からスポーツへの興味を高める。 4. 期末テスト前には、範囲を確認してしっかりと復習する。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	保健体育（保健分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○心と体が関連していることを知り、運動や健康・安全についての理解とさまざまな運動を通して、積極的に運動に親しんだり、健康の保持増進をしたり、体力の向上を図ったりして、明るく豊かな生活を送れるようにする。 ○個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していけるようにする。
使用教材	教科書：保健体育（大修館書店） 補助教材：ステップアップ中学体育（大修館書店）、保健体育ノート2年（新学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 健康・安全への関心・意欲・態度	自他の心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・プリントの記入、提出状況
②健康・安全についての思考・判断	自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・プリントの記入内容
② 健康・安全についての知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、その知識を身につけている。	・学習活動への取り組み状況 ・プリントへの記述 ・定期テストや小テスト

3. 学習計画（保健分野）

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
2. 健康と環境 (1) 環境の変化への体の適応 (2) 快適で能率のよい環境 (3) 衛生的な飲料水の供給 (4) 空気の汚染と換気 (5) し尿とごみの処理 (6) 私たちの生活と環境問題	① 健康と環境のかかわりについて、興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 健康と環境について日常生活をふり返り、課題を見つけて解決の方法を考えることや、学習したことを日常の生活に当てはめたりすることができる。 ③ 人間の健康は環境と深くかかわっていることや、身体には環境に対する適応能力があることを知っている。また、心身の健康を保持増進するために、生活にともなって生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛星に保つ必要があることを知っている。
3. けがの防止 (1) けがの原因と防止 (2) 交通事故によるけがの防止 (3) 犯罪被害の防止 (4) 自然災害への備えと避難 (5) 応急手当の基本 (6) けがの応急手当 (7) 心肺蘇生法	① 傷害の防止について興味・関心を持ち、自分の日常生活をふり返りながら意欲的に学習しようとしている。 ② 傷害の防止について、自分の経験や地域の生活等をふり返り、課題を見つけて解決の方法を考えたり、学習したことを日常の生活に当てはめたりすることができる。 ③ 自然災害や交通事故などによる傷害の発生要因や防止対策について知っている。また、応急手当の意義と方法について知っている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	1. 健康の保持増進に興味・関心を持って生活をし、学習内容を日常生活に生かすことができるようにする。 2. 疾病予防のために心身の健康管理に心がける
------------------	--

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	保健体育（体育分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 ○運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。 ○運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。 ○運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。
使用教材	教科書：保健体育（大修館書店） 補助教材：ステップアップ中学校体育（大修館書店）、保健体育学習ノート③（進学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 運動への関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとする。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習ノートの提出状況 ・学習カードの提出状況
② 運動についての思考・判断	生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。また、自己の状況に応じて体力を高めるための運動の計画を工夫している。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・学習カードへの記述内容 ・学習ノートへの単元の振り返り
④ 運動の技能	運動の合理的な実践を通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・スキルテスト
⑤ 運動についての知識・理解	選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義や考え方を理解している。	・定期テスト ・単元ごとのテストも含む。

3. 学習計画（体育分野）

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
A 体づくり運動 ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動 ・準備運動 ・集団行動 ・体力測定 C 陸上競技 <三種競技：個人で選択> ・50mハードル走 ・走り高跳び ・走り幅跳び D 水泳 ○クロール ○平泳ぎ ○背泳ぎ C 陸上競技 ○短距離走、リレー ・バトンパス B 器械運動 ○マット運動 ・回転系 ・巧技系 ○跳び箱運動 ・回転系 ・切り返し系 E 球技 ○サッカー C 陸上競技 ○長距離走 ・2000m 走 ・ペース走、インターバルトレーニングなど E 球技 ○ハンドボール H 体育理論 ○文化としてのスポーツの意義	① 体づくり運動に興味・関心を持ち、意欲的に学習している。 ② 自己の体力や能力を知り、課題解決のための方法を考えて実践している。 ③ 準備運動や集団行動を正しく行うことができる。 ④ 運動の特性や学び方、準備運動の必要性や体力測定の方法を理解している。 ① 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し練習の仕方を選んだりしている。 ② グループでお互いに観察したり、記録を取ったりして競争するなど、協力工夫しながら練習しようとする。 ③ ハードル走・走り高跳び・走り幅跳びの特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。 ④ 自分の能力に合った正しいフォームを見つけ、安定したペースで走ったり、跳んだりしている。 ① 水泳に興味・関心を持ち、続けて長く泳いだりする楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫している。 ③ 自己のペースでゆっくり長く泳ぐことができる。 ④ 技能のポイントや、ルールを知っている。 ① 短距離走やリレーに興味・関心を持ち、全力を出して競争したり、記録を向上させようとしている。 ② 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し練習の仕方を選ぼうとしている。 ③ 短距離走やリレーの特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。 ① マット運動・跳び箱運動の特性に興味・関心を持ち、日常では味わえない回転や逆さになること、わざができるようになることに楽しさを味わおうとしている。 ② 自己の能力に適した技を選び、課題を持って練習したり、技のできばえを確かめたりしている。 ③ 基本的な技は何度もくり返し、条件を変えてもできる。 ④ 練習の仕方や場の工夫によって、技能を習得する方法を知っている。 ① ゴール型ボールゲームに興味・関心を持ち、シュートが決まる楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己やチームの能力に応じて課題を持ち練習を工夫し解決をしようとしている。 ③ 今持っているパスやシュートの技能を生かして、セットプレーができる。 ④ ルールや攻防の仕方を知っている。 ① 長距離走に興味・関心を持ち、全力を出して競争したり記録を向上させようとしている。 ⑤ 自己の能力に適した目標記録や課題を設定し練習の仕方を選ぼうとしている。 ③ グループごとのペース走・インターバル走の基本的な技能を身につけている。 ④ 長距離の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を知っている。 ① ボートボールなどを通じて、ゴール型ボールゲームに興味・関心を持ち、シュートが決まる楽しさや喜びを味わおうとしている。 ② 自己やチームの能力に応じて課題を持ち練習を工夫し解決をしようとしている。 ③ 今持っているパスやシュートの技能を生かして、ゲームができる。 ⑥ ルールや攻防の仕方を知っている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	1. 授業には積極的に参加する。 2. 準備・片付けなど協力し、すばやく行動する。 3. 健康・安全に留意し、けがや事故を防げるようにする。 4. 自己の課題の克服や記録への挑戦に努める。 5. 仲間と協力し、運動が楽しくできるように働きかける
	家 庭	1. 規則正しい生活を心がける。 2. 食事・運動・休養のバランスを考えられるようにする。 3. 日頃からスポーツへの興味を高める。 4. 期末テスト前には、範囲を確認してしっかりと復習する。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	保健体育（保健分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○心と体が関連していることを知り、運動や健康・安全についての理解とさまざまな運動を通して、積極的に運動に親しんだり、健康の保持増進をしたり、体力の向上を図ったりして、明るく豊かな生活を送れるようにする。 ○個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していけるようにする。
使用教材	教科書：保健体育（大修館書店） 補助教材：ステップアップ中学体育（大修館書店）保健体育学習ノート③（進学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 健康・安全への関心・意欲・態度	自他の心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・プリントの記入、提出状況
② 健康・安全についての思考・判断	自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	・学習活動への取り組み状況 ・グループ活動への取り組み状況 ・プリントの記入内容
③ 健康・安全についての知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、その知識を身につけている。	・学習活動への取り組み状況 ・プリントへの記述 ・定期テストや小テスト

3. 学習計画（保健分野）

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
4. 健康な生活と病気の予防 (1) 健康を左右するもの (2) 運動と健康 (3) 食事と健康 (4) 休養・睡眠と健康 (5) 生活習慣病とその予防 (6) 喫煙と健康 (7) 飲酒と健康 (8) 薬物乱用と健康 (9) 感染症と病原体 (10) 感染症の予防 (11) 性感染症の予防 (12) エイズの予防 (13) 医薬品の正しい使い方 (14) 医療・保健機関とその利用 (15) 個人の健康を守る社会の取り組み	① 健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防に興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 健康な生活の仕方や疾病の予防について、自分の知識や日常の生活をふり返り、課題を見つけ解決しようとしたり、学習したことを日常の生活にあてはめたりすることができる。 ③ 健康の保持増進のためには生活習慣が深くかかわっていることや、それが主な要因となって起こる疾病やその予防の仕方について知っている。喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響と乱用してはいけないことを理解し、知識を身につけている。感染症の要因とその予防の方法について知っている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習	1. 健康の保持増進に興味・関心を持って生活をし、学習内容を日常生活に生かすことができるようにする。 2. 疾病予防のために心身の健康管理に心がける。
----	---

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	技術・家庭（技術分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○身近な生活で、ものづくりについて関心を持ち、工夫して製作しようとする意欲・態度が身につく。 ○加工の基礎技術を製作にいかし、目的に応じた作品を完成できる。 ○工具を扱うための基礎的な技術を身につけるとともに、安全に取り扱うことができる。 ○安全や事故、けが防止のための注意や環境整備ができる。 ○コンピュータの仕組みや操作を学び、ソフトウェア等を利用して情報を適切に活用できる。 ○高度情報化社会における、情報機器の安全な利用方法とモラル意識・態度が身につく。 ○興味・関心を持って栽培観察をすることができる。
使用教材	教科書：技術・家庭 技術分野（東京書籍） 情報機器，木工教材，栽培教材

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	- ものづくりに関する技術について関心を持ち、作品をよりよくするためにその知識と技術を進んで活用しようとする。 - コンピュータの活用等に関する技術について関心を持ち、生活をよりよくするためにその知識と技術を進んで活用しようとする。 - 産業技術や情報技術、栽培技術等に関心を持ち、進んで学習しようとしている。 - 栽培観察を進んですることができる。	- 授業への取り組み状況 - 定期テストや小テスト - 学習プリント
②生活を工夫し創造する能力	- 習得した知識・技術を活用し、工夫して作品・表現等にいかすことができる。 - 目的に応じて材料や素材を加工・設計し、計画的、合理的に製作できる。 - 加工技術、産業技術、栽培技術、情報技術にいかすことができる。	- 授業への取り組み状況 - 課題への取り組み - 定期テストや小テスト - 学習プリント
③生活の技能	- 目的に応じて基礎的な技術を身につけることができる。 - 基礎的な技術を適切に活用し、正確に製作課題等に応用できる。 - 基礎的な技術を適切に活用し、身近な生活に課題を持って応用・発展させることができる。	- 作品の製作状況 - 適切な情報活用と処理 - 定期テストや小テスト
④生活や技術についての知識・理解	- 技術と社会との関わりを理解し、身近な生活と技術についての基本的な知識について理解できる。 - 状況や目的に応じて必要な技術に関する知識や理解を身につけることができる。 - 安全や環境に配慮した知識・理解を持つことができる。	- 授業への取り組み状況 - 定期テストや小テスト - 学習プリント

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
各2時間設定 1. けがき ①図面の読み取り ②けがき1 ③けがき2 ④仕上り寸法と切断線の確認 2. 部品の切り出し ⑤のこぎり引き1 ⑥のこぎり引き2 3. 部品加工 ⑦かんながけ1 ⑧かんながけ2 4. コンピュータ ⑨ネットワーク、情報モラル ⑩ワープロ、画像処理 5. 組み立て ⑪くぎ打ち1 ⑫くぎ打ち2 ⑬くぎ打ち3 6. コンピュータ ⑭まとめ 発表	①生活や技術への関心・意欲・態度 ・ コンピュータやものづくり、栽培に興味がある。 ・ 積極的な授業参加。(出席状況含む) ・ 仲間と協力して相互に活動することができる。 ・ 安全に配慮し、ルールを守って機器・道具を利用できる。 ・ 指示通り授業が受けられる。 ・ 根気よく作業ができる。 ・ 作業後の片づけ、掃除ができる。 ②生活を工夫し創造する能力 ・ 課題に対して基礎的な技術を活用し、道具や材料を工夫して解決できる。 ・ 構造を理解し、強度に応じて板材の役割を理解できる。 (側板、底板、背板、幕板、貫き) ・ 自ら材料や情報を取捨選択し、加工・処理しようとする。 ・ 身近な作物の育成について、適切な栽培方法を考えることができる。 ・ ソフトウェアの各機能を活用して、目的に応じた内容を表現できる。 ③生活の技能 ・ 機器の起動・終了、ソフトウェアの各機能について適切に操作することができる。 ・ 加工目的に応じて、適切な道具を選び、正確な計測、切削、接合、仕上げができる。 (けがき、材料取り、のこびき、かんながけ、穴あけ、くぎ打ち、塗装) ・ 作物の適切な栽培管理・作業ができる。 ④生活や技術についての知識・理解 ・ 情報機器の各装置の仕組みやソフトウェアの機能を理解できる。 ・ 情報機器の安全・適切な利用、道具の安全な使い方について理解できる。 ・ 加工道具の用途等について理解できる。 ・ 製作方法の計画的、合理的な手法について理解できる。 ・ 作物の適切な栽培管理について理解できる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・ チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ・ 授業中は先生の話を中心して聞き、指示通り作業をしよう。 ・ 分からないことがあったら、友達や先生に尋ねよう。 ・ 配布プリントはきちんとファイルに綴じよう。
	家 庭	・ 学習プリントの課題について、身近な生活に置き換えていろいろ考えてみよう。 ・ 情報機器の安全な活用方法について、保護者と一緒に考えよう。 ・ 身近な木材加工製品がどのようところに利用されているか考えよう。 ・ 身近な木材製品がどのように加工されているかを考えよう。 ・ 観葉植物の生長に関心を持とう。

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	技術・家庭（技術分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○製作について興味・関心を持ち、ものづくりのための知識と技術を進んで習得できる。 ○材料加工に関する知識や技術を活用し、創意工夫して作品を製作できる。 ○工具を扱うための基礎的な技術を身につけるとともに、安全に取り扱うことができる。 ○安全や事故、けが防止のための注意や環境整備ができる。 ○環境問題やエネルギー等の技術にかかわる社会問題に目を向け、現代の課題について問題を整理できる。 ○グループ等の仲間同士で、相互補助、相互確認、危険防止についての意識を高め、作業に取り組むことができる。
使用教材	教科書：技術・家庭 技術分野（東京書籍） ，プリント 木材、プリント基板、電子部品、はんだごて等、情報機器

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	製品の仕組みについて興味を持ち、製作に関する技術についても関心を持ち、作品をよりよくするためにその知識と技術を進んで活用しようとする。 グループ等の仲間同士で、相互補助、相互確認、危険防止についての意識を高め、作業に取り組むことができる。	・ 学習活動への参加の仕方や態度 ・ ファイルの提出状況 ・ 定期テスト ・ 毎時間の製作の進捗状況 ・ 忘れ物、提出物
②生活を創意工夫する能力	習得した製作に関する知識・技術を活用し、創意工夫して作品を製作できる。	・ 製作にかかわる思考や判断 ・ 状況に応じた適切な道具の使い方 ・ 製作にかかわる発想とアイデア ・ 課題の発見、改善への対応力
③生活の技能	製作において工具の使い方の基礎的な技術を身につけ、その技術を安全に手早く使うことができる。 道具を適切に活用し、安全に取り扱うことができる。 安全対策を施し、けがや事故防止の対応ができる。	・ 授業での発言や取り組み内容 ・ 作業中の取り組み内容 ・ ファイルの提出、内容確認 ・ 定期テスト ・
④生活や技術についての知識・理解	製品の仕組みを知り、それぞれの作業工程について内容を理解できる。 製品を製作するための工具について、安全に使用できる知識を持つ。 環境問題やエネルギー等の技術にかかわる社会問題に目を向け、現代の課題について問題を整理できる。	・ プリントの確認、提出状況 ・ レポートや感想文の内容 ・ 定期テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
機械の仕組と動力の伝達 各2時間設定 1、製図 ①立体の表し方 ②正投影図 ③補助記号等 2、回路の仕組み ④電子部品の役割と基盤の接続 ⑤基盤接続、結線 3、けがき ⑥機構の仕組み ⑦けがき ⑧電動道具の利用と安全確認 4、部品加工 ⑨穴あけ加工（ボール盤） ⑩曲面加工（ベルトサンダー） ⑪各種加工の練習 5、組み立て ⑫⑬くぎ打ち接続 6、コンピュータ ⑭⑮まとめ 7、栽培観察	① 生活や技術への関心・意欲・態度 - ものづくりに興味がある。 - 指示通り授業が受けられる。 - 根気よく作業ができる。 - 忘れ物、提出物（毎時間の製作物の提出）の状況。 ② 生活を工夫し想像する能力 - 様々な状況において、自ら課題を発見し、積極的に解決できる。 - 製作にかかわるアイデアや発想を作品にいかすことができる。 - 製作にかかわる道具を工夫し、積極的かつ適切に活用できる。 - 作業を効率よく進めることができる。 - 授業のめあてを理解し、計画的に段取りをつけて取り組むことができる。 ③ 生活の技能 - 製作にかかわる各種道具を安全かつ適切に活用できる。 - 製作にかかる、加工、仕立て、組み立て、仕上げの各工程が適切にできる。 - 毎時間、課されためあての技能を確実に習得できる。 ④ 生活や技術についての知識・理解 - 製作を通して身近な生活と関わりあい、様々な課題について考えることができる。 - 身近な生活において、道具や製品の安全な使い方について考えることができる。 - 道具の名称や使い方がわかる。 - 各工程や作業の内容について理解できる。 - 自分の作業内容を振り返ることができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	- チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 - 授業中は先生の話を集中して聞き、指示通り作業をしよう。 - 分からないことがあったら、友達や先生に尋ねよう。 - 配布プリントはきちんとファイルに閉じよう。
	家 庭	- 配布プリントを中心に学習しよう。 - テストで間違えた問題は復習しておこう。 - 身近な生活で、目的に応じて使用している加工製品について興味を持とう。 - 製品が作られる過程や製作工程に興味・関心を持とう。 - 様々な道具を活用し、授業で習得した技術を生かそう。

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	技術・家庭（技術分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○ 製作について興味・関心を持ち、ものづくりのための知識と技術を進んで習得できる。 ○ 材料加工に関する知識や技術を活用し、創意工夫して作品を製作できる。 ○ 工具を扱うための基礎的な技術を身につける。 ○ 工具の安全な取り扱いや事故、けが防止のための注意や環境整備ができる。 ○ 技術にかかわる社会問題に目を向け、現代の課題について問題を整理できる。 ○ グループ等の仲間同士で、相互補助、相互確認、危険防止についての意識を高め、作業に取り組むことができる。
使用教材	教科書：技術・家庭 技術分野（東京書籍） ，プリント 木材、製図用紙、木材加工道具等

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	製品の仕組みについて興味を持ち、製作に関する技術についても関心を持ち、作品をよりよくするためにその知識と技術を進んで活用しようとする。 グループ等の仲間同士で、相互補助、相互確認、危険防止についての意識を高め、作業に取り組むことができる。	・ 学習活動への参加の仕方や態度 ・ ファイルの提出状況 ・ 定期テスト ・ 毎時間の製作の進捗状況 ・ 忘れ物、提出物
②生活を創意工夫する能力	習得した製作に関する知識・技術を活用し、創意工夫して作品を製作できる。	・ 製作にかかわる思考や判断 ・ 状況に応じた適切な道具の使い方 ・ 製作にかかわる発想とアイデア ・ 課題の発見、改善への対応力
③生活の技能	製作において工具の使い方の基礎的な技術を身につけ、その技術を安全に手早く使うことができる。 道具を適切に活用し、安全に取り扱うことができる。 安全対策を施し、けがや事故防止の対応ができる。	・ 授業での発言や取り組み内容 ・ 作業中の取り組み内容 ・ ファイルの提出、内容確認 ・ 定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	製品の仕組みを知り、それぞれの作業工程について内容を理解できる。 製品を製作するための工具について、安全に使用できる知識を持つ。 技術にかかわる社会問題に目を向け、現代の課題について問題を整理できる。	・ プリントの確認、提出状況 ・ レポートや感想文の内容 ・ 定期テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
エネルギー伝達、動力を伝える機構 1. いろいろな装置 ①かみあう装置・リンク装置 ②エンジンの仕組み ③カム装置の仕組みと活用 2. 製図 ④木取図の制作 ⑤揺動運動のアイデア作成 ⑥カム製作 3. 加工 ⑦切削、穴あけ加工 ⑧土台の制作 ⑨カム装置とロッドの取り付け ⑩製作の完成に向けて 4. 組み込み ⑪部品の組み込み ⑫動作調整 5. 情報処理 ⑬プレゼンテーションソフトによる製作 ⑭製図ソフトの使い方 ⑮3Dプログラムの製作	⑤ 生活や技術への関心・意欲・態度 ・ものづくりに興味がある。 ・指示通り授業が受けられる。 ・根気よく作業ができる。 ・忘れ物、提出物（毎時間の製作の提出）の状況。 ⑥ 生活を工夫し想像する能力 ・様々な状況において、自ら課題を発見し、積極的に解決できる。 ・製作にかかわるアイデアや発想を作品にいかすことができる。 ・製作にかかわる道具を工夫し、積極的かつ適切に活用できる。 ・作業を効率よく進めることができる。 ・授業のめあてを理解し、計画的に段取りをつけて取り組むことができる。 ⑦ 生活の技能 ・製作にかかわる各種道具を安全かつ適切に活用できる。 ・製作にかかる、加工、仕立て、組み立て、仕上げの各工程が適切にできる。 ・毎時間、課されためあての技能を確実に習得できる。 ⑧ 生活や技術についての知識・理解 ・製作を通して身近な生活と関わりあい、様々な課題について考えることができる。 ・身近な生活において、道具や製品、情報機器の安全な使い方について考えることができる。 ・道具、情報機器等の名称や使い方がわかる。 ・各工程や作業の内容について理解できる。 ・自分の活動内容を振り返ることができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	○ チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ○ 授業中は先生の話を中心して聞き、指示通り作業をしよう。 ○ 分からないことがあったら、友達や先生に尋ねよう。 ○ 配布プリントはきちんとファイルに綴じよう。
	家庭	○ 配布プリントを中心に学習しよう。 ○ テストで間違えた問題は復習しておこう。 ○ 身近な生活で、目的に応じて使用している加工製品について興味を持とう。 ○ 製品が作られる過程や製作工程に興味・関心を持とう。 ○ 様々な道具を活用し、授業で習得した技術を生かそう。

学校名	学年	教科
川越中学校	1～3年生	技術・家庭（家庭分野）

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○生活に必要な知識と技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 ○消費者としての自覚を高めると共に環境に配慮して主体的に生活を営む能力と家族や地域社会の一員として課題をもって生活をよりよくしようとする態度を身につける。 ○衣食住の生活について、課題を持って計画を立てて実践する能力と態度を養うことにより、生活の自立を図る。 ○幼児の心身の発達を通して、子どもが育つ環境としての家庭や家族の人間関係について考えることにより、家庭や家族の基本的な機能や重要性を理解する。
使用教材	教科書：新編 新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	- 授業に必要な持ち物を整え、積極的に学習活動に取り組める。 - 積極的に係活動を行い、道具などの準備、片付け、掃除などに取り組める。 - 提出物は期限を守って出せる。 - プリントをわかりやすくまとめたり、メモを取ったりできる。 - 衣食住や家族の生活について関心をもち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで日常生活に活用しようとする。 - 話し合いや製作の過程で、班やクラスのメンバーと協力する気持ちがえられる。	- 授業準備や宿題への取り組み方 - 学習活動への参加の仕方や態度。 - ファイル・課題などの作成状況
②生活を工夫し創造する能力	- 衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造することができる。 - 基礎を応用した作品の製作過程で、創意工夫することができる。 - 製作やその準備・片づけの中で、安全や能率に配慮した行動ができる。	- 授業での発言や取り組み内容 - 課題作品づくり作業の様子 - ファイル・課題などの作成状況 - 定期テスト
③生活の技能	- 衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付け、実践することができる。 - 技能を安全に活用することができる。 - 学習した技能を作品制作に利用することができる。	- 課題作品づくり作業の様子 - 課題作品の出来具合 - 定期テスト
④生活の知識・理解	- 家庭の基礎的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付ける。 - 生活と技能の関わりについて理解できる。	- 授業での発言や取り組み内容 - 定期テストや小テスト

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1 学年 (後期)	「わたしと家族」 ○家庭と家族関係 ・家庭や家族の機能や地域との関わり 「衣生活と自立」 ○衣生活と自立 ・着る目的 ・衣服の計画的な活用 ・必要な衣服の選択 ・衣服の手入れ ・基礎技能 「住生活と自立」 ○住生活と自立 ・住まいの役割 ・家族と住まいの関わり ・安全に住む ・健康で快適な室内空間	①生活や技術への関心・意欲・態度 ・生活に役立つものを考え、製作計画を立てることができる。 ・日常着の必要性や手持ちの衣服を計画的に活用・収納する工夫を考えられる。 ・人間が生活を営む上で、自然の恵みを活用するための知恵や技術を知ることを通して、自然と生活の関わりを考えられる。 ・住まいのはたらきを自分の生活に重ねて考えることができる。 ②生活を工夫し創造する ・衣生活の社会生活上の機能を知り、時・場所・場合に合った衣服の着用や個性を生かす着方が工夫できる。 ・家族構成や暮らし方に応じて求められる住居の役割を考えられる。 ・作品製作の中で、能率よく取り組んだり、工夫を凝らすことができる。 ③生活の技能 ・衣服材料や汚れの度合いに応じた洗濯、補修ができる。 ・手縫いとミシン縫いの基礎を利用して個性のある小物をつくりあげることができる。 ④生活の知識・理解 ・組成表示、取り扱い絵表示、サイズ表示などの意味を知り日常着を選択できる。 ・家庭の仕事は多くの仕事があり、家族が協力しながら家庭生活を営んでいることを理解するとともに、家族の一員としての自覚をもつことができる。 ・住まいの役割や、生活とのかかわり、安全や快適な室内環境の整え方を理解する。
2 学年 (前期)	「私たちの食生活」 ○食生活と栄養 ・食事の役割 ・栄養素の種類と働き ○献立作りと食品の選択 ・食品に含まれる栄養素 ・バランスのとれた食生活 ・食品の選び方 ○調理と食文化 ・日常食の調理 ・基礎技能 ・地域の食文化 「私たちの消費生活と環境」 ○環境に配慮した消費生活 ・生活と環境の関わり	①生活や技術への関心・意欲・態度 ・食に興味を持ち、食事の役割や健康と食とのかかわりについて理解することができる。 ②生活を工夫し創造する能力 ・食品の栄養素に関するグラフ作りや、簡単な献立作りができる。 ③生活の技能 ・日常によく用いられる食品を取り上げ、簡単な日常食の調理ができる。 ・食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具などの適切な管理ができる。 ・表示の見分け方を理解し、身近な食品の適切な選択・保存方法がわかる。 ④生活の知識・理解 ・五大栄養素の種類と働きや中学生の時期の栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解することができる。 ・季節の食品を知り、食品の品質を見分け、用途に応じて生鮮食品や加工食品を適切に選択することができる。 ・家庭内事故の防ぎ方や安全管理の仕方を理解し、安全な住まい方の工夫を考えることができる。
3 学年	「成長と家族・地域」 <1 学期> ○幼児の生活と家族 ・幼児の心身の発達と生活 <2 学期> ・幼児の生活と遊び ・幼児との触れ合い ・幼児のおもちゃ作り <3 学期> 「消費生活と環境」 ○消費生活 ・消費者としての自覚 ・商品の選択と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費者トラブルを解決する方法	①生活や技術への関心・意欲・態度 ・自分の成長を振り返り、家族や周囲の人々に支えられて成長してきたことに気づくことができる。 ・保育実習に準備段階から積極的に取り組み、感想や気づきをまとめることができる。 ②生活を工夫し創造する能力 ・幼児に合った接し方や遊び方を工夫し、触れ合う方法を考えて考察できる。 ・作品作りの中で、能率よく作るための段取りや、個性を出す工夫ができる。 ③生活の技能 ・自分の生活を振り返り、環境に影響を与えている消費生活について具体的に考え、改善のための工夫ができる。 ・幼児の生活を観察したり、直接幼児と遊んだりして、ふれあいの楽しさや喜びを感じ、生徒理解を深めることができる。 ④生活の知識・理解 ・販売方法の特徴や消費者保護について知り、物資やサービスの適切な選択、購入及び活用などができる。 ・幼児の心身の発達の特徴や基本的な生活習慣の形成の重要性について知り、幼児の発達に直接関わる家族の役割について考えられる。 ・基本的な生活習慣の形成は、生活の自立の基礎となるので、適切な時期と方法を考えて身につけさせる必要があることを理解できる。 ・自分の幼児期を振り返り、幼児を自分の身近な存在と受け止め、幼児についての学習の重要性に気付くことや、生命の尊さを理解し、まわりの人々に感謝の気持ちをもつことができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	○学習課題をしっかりとらえ、好奇心を持って取り組む。また、自分なりの考えを持ち、表現できる。 ○分からないところを、できないところを明確にして、学習・実習する。 ○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をする。 ○自分のよいところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦する。 ○実習・実験には安全面・衛生面に気をつけて取り組む。
	家 庭	○日常生活で家族の一員として自分の仕事を持ち、いろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 ○自分の生活の中に課題を見つけ、よりよくする工夫がどのようにされているかを見つけたり、自分で工夫してみる。 ○学習したことを積極的に家庭生活に生かすこと。 ○授業中に学習したことをしっかり復習すること。

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年生	英語

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。 ○外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 ○聞くことや話すことなどの実践的なコミュニケーション能力の基礎を養う。
使用教材	教科書：NEW CROWN 1（三省堂） 補助教材：New Enjoy ワーク、英語ワークノート、E-NAVI フォニックス&ペンマンシップ、語順ドリル①

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	- 忘れ物をせず、授業の準備物が机上に用意されている。 - 大きな声で音読し、意欲的に授業に参加している。 - 提出物が期日を守って、きちんと提出されている。 - ペアワーク・グループワークに積極的に取り組んでいる。 - 積極的に挙手や発表ができています。	- 準備物・提出物の状況 - 授業中の観察・発表の様子 - 会話練習・コミュニケーション活動の様子
②表現の能力	- 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話している。 - 伝えたい内容、場面、相手によって語句や表現を適切に用いている。 - 積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	- 定期テスト - 授業中の発表の様子 - コミュニケーション活動の様子
③理解の能力	- 英語を聞いた内容について大切な部分を聞き取る。 - 英文で書かれた内容について正しく読みとっている。	- 定期テスト - 教科書の英文読解力 - 授業のプリント
④言語や文化の知識・理解	- 単語や英文を正しく読んだり、書いたりする力を身につけている。 - 他国の人々の、ものの見方や考え方などの違いについて理解している。	- 定期テスト - 単語テスト

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1 年 生 1 学 期	Get Ready!①～⑤ 英語の音や文字に興味を持つ LESSON 1 I am Tanaka Kumi I am.... You are... Are you～? I am not... Let's Talk① ・I'm sorry. LESSON 2 My School This is... Is that ...? What is this? This is not... He(She) is... Let's Talk② ・What time is it? LESSON 3 I Like Soccer I have... Do you ...? I do not... What do you...? Let's Talk③ ・Where is ...? LESSON 4 Field Trip two bags How many...? Use.../Don't.../Let's... Let's Talk④ ・How much is... ?	★コミュニケーションを楽しむ (①②) ★説明する・質問する ・自己紹介をする (①②③④) ★あいさつをする・あやまる (①②) ★説明する・質問する ・身近なものについて説明する (①②③④) ★時刻をたずねる・説明する・呼びかける (①②) ・好きなものや持ち物などについて説明する ・自分らしさが伝わる自己紹介をする (①②③④) ★場所をたずねる・聞き直す・お礼を言う (①②) ★質問する・依頼する ・複数のものについて説明する (①②③④) ★値段をたずねる・説明する・呼びかける (①②)
2 学 期	LESSON 5 Our New Friend from India ・Who is...? Where/When do you...? him/her Let's Talk⑤ ・Whose...is this? ・Start Reading My Treasure LESSON 6 My Family ・Miki plays... Does Miki play...? Miki does not play... Let's Talk⑥ ・Which ～ A or B...? LESSON 7 Sports for Everyone ・Koji can play... Can Koji play...? Koji cannot ... Let's Talk⑦ ・Can you ...?	★質問する ・簡単な質問をし合う (①②) ★持ち主を尋ねる・説明する・お礼を言う (①②) ・英文を読む[異文化] (③) ★説明する・質問する ・質問して、わかったことについて報告する ・友達にインタビューをして友達を紹介する英文を書く (①②③④) ★好みをたずねる (①②) ★説明する・質問する (①②③④) ・雑誌の記事を読む[社会理解/人間理解] (③) ・ニュース番組を聞く (①) ・自分や友達のできることについて話す (②) ★依頼する・承諾する・断る (①②)
3 学 期	LESSON 8 School Life in the USA Tom is studying ... Is Tom studying...? Tom is not studying... Let's Talk ⑧ How can we go to...? LESSON 9 Four Seasons Amy played... Did Amy play...? Amy did not play... Amy went... Let's Talk ⑨ ・Why ...? Let's Read Alice and Humpty Dumpty	★説明する・質問する・描写する (①②③④) ・メールを読む [異文化/学び] (③) ・自分の学校を紹介する英文を書く (①②③④) ★交通手段をたずねる・説明する・提案する ★説明する・質問する (①②③④) ・アルバムを読む [伝統文化] (③) ・日本の昔話を聞く (①) ・1年間の思い出についてカードに書く (④) ★理由をたずねる (①②) ・文学作品を読む[異文化/ことば] (③)

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・大きな声で発音練習や音読をしましょう ・積極的に挙手をし、発表をしましょう ・ペアワーク・グループワークでは積極的に取り組みましょう ・チャイムがなるまでに準備物を机の上に準備をしておきましょう ・ノートは丁寧に書きましょう ・与えられた課題は確実にこなしましょう
	家 庭	・与えられた宿題をきちんとしましょう ・習ったところの文法事項や単語を、ワークを解いたり、ノートにまとめたりして復習しましょう ・英単語は「読める(発音できる)」「書ける」ようになるまで、何度も繰り返し発音したり、書く練習をしましょう ・教科書の本文を何度も音読しよう(頭の中で意味が自然に出てくるようになるまで)

学校名	学年	教科
川越中学校	2年生	英語

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。 ○外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 ○聞くことや話すことなどの実践的なコミュニケーション能力の基礎を養う。
使用教材	・教科書：NEW CROWN 2（三省堂） ・補助教材：パーフェクトノート（学宝者） / ニューリピートワーク・リスニング付き（教育同人社） / 絶対評価プリント（教育同人社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	- 忘れ物をせず、授業の準備物が机の上に用意されている - 大きな声で音読し、意欲的に授業に参加している - 提出物を期限を守って、きちんと提出する - ペアワーク・グループワークに積極的に取り組んでいる - ライティングノートに積極的に自主学習ができている	- 準備物・提出物の状況 - 授業中の観察・クラスルームイングリッシュおよび挙手・発表の様子 - 会話練習・コミュニケーション活動の様子
②表現の能力	- 教科書の文法や単語を活用し、前もって発話することを用意した上で、身近なトピックについて、教科書のモデル文や既習の表現を活用して、自分の考えや気持ち、事実などを話すことができる。 - 教科書の文法や身近な暮らしにかかわる事柄について、聞き手に正しく伝えたり、聞き手からの質問に適切に応じたりすることができる。 - 相手の発言に対して、簡単な相づちを打ったり、一言コメントが言える	（スピーチ、インタビューテスト、朗読、プレゼン） - 定期テスト（表現問題） - 授業中の観察 - コミュニケーション活動 - 授業中のQ&A - 単元テスト（表現問題）
③理解の能力	- 教科書の文法事項や単語を含む身近な話題に対するまとまりのある英文を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。 - 過去の出来事や未来の予定などについて話された英文を聞いて、情報を適切に聞き取ることができる。 - 単語と単語のつながりを聞き取ることができる - まとまりのある英文（説明文等）を読んで、その概要や書き手の意向を読み取り、要点を把握することができる。 - 英文の内容を考えながら黙読したり、内容が伝わるように音読することができる。	- 定期テスト（理解の問題） - リスニングテスト - 授業中のQ&A - 単元テスト（理解問題） - 長文の内容理解
④言語や文化の知識・理解	- 単語や英文を正しく読んだり、書いたりする力を身につけている。 - 人々のものの見方や、考え方などの違いについて理解している。	- 定期テスト - 単語テスト - 単元テスト（言語文化問題）

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
2年生 1学期	Lesson1” Aloha!” - 一般動詞 規則動詞／不規則動詞 《一学年の復習》 We’re Talking 1 道案内をしよう “How can I get to ~?” Lesson2” Peter Rabbit” - be 動詞過去形（肯定、疑問、否定） - 過去進行形 - 接続詞 when We’re Talking 2 もし雨が降ったら ” If...” - 場合にわけて説明する、相槌をうつ Lesson3 ” The Ogasawara Islands” - 未来を表す表現(will, be going to) - 接続詞 that We’re Talking 3 避難訓練 ” must / must not ~” Lesson4” Enjoy Sushi” ” There is (are)” - 動名詞 We’re Talking4” 宿題はなに? ” have to”	1年生で学習した内容を使って表現できる。(①②④) - 過去形を使い、春休みの出来事について日記を書くことができる。(②) - 交通手段をたずねたり、説明することができる。(①②④) - be 動詞の過去形の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) - 過去進行形の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) - 接続詞 when, の文の形・意味。用法を理解し、表現できる。(①②③) - 理由をたずねたり、説明することができる。(①②④) - 未来形の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) - 接続詞 that, の文の形・意味。用法を理解し、表現できる。(①②③) - 接続詞 if, の文の形・意味。用法を理解し、表現できる。(①②③) - There is (are) …の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) - 動名詞の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) - have to ~の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③)
2学期	LET’S READ1 ” A Pot Of Poison” Lesson5” Uluru” - give など+A+B、Look など+A We’re Talking5 もっといただけますか ” May I...?” Lesson6 ” My Dream” - 不定詞（名詞用法、副詞用法、形容詞用法） We’re Talking6 電話をしよう” Will you ...please?” Lesson7 ” Presentations” - 比較級(er) 最上級(est)／比較級 (more) 最上級(most)／as...as 副詞の比較級	- 物語を読んで、自分の感想を述べるができる。(①②③) - 不定詞の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) - 将来なりたいものを英語で表現することができる。(①②④) - May I ~?で「～してもいいですか」と許可を求めることができる。(①②③) - give, の文の形・意味・用法を理解し、表現できる、(①②③) - look, の文の形・意味・用法を理解し、表現できる、(①②③) - 電話を受ける側、かける側の表現を理解し、使うことができる。(①②③) - Will you ...please?を使って依頼することができる。(①②③) - 比較級・最上級の形・意味・用法を理解し、表現できる、(①②③) - 同格の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③)
3学期	We’re Talking7 買い物をしよう” It’s too” Lesson8” India, My Country” 受身形（肯定、疑問、否定 by の文） LET’S READ2 ” Landmines and Aki Ra”	- 苦情を言う、提案する表現を理解し、使うことができる。(①②③) - 受身の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) - 物語を読んで、場面の展開を読み取ることができる。(①③)

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	- 大きな声で発音練習や音読をしよう - ペアワーク・グループワークでは積極的に取り組もう - チャイムがなるまでに準備物を机の上に準備をしておこう - ノートは丁寧に書こう
	家庭	- 習ったところの文法事項を復習しておこう - 習ったところの教科書を、場面をイメージしながらしっかり音読しよう(目標は基本文を暗記するまで) - 定期テストや実力テストでできなかったところは確実にわかるようにしておこう - 言えるようになった英文をライティングノートにたくさん書こう！

学校名	学年	教科
川越中学校	3年生	英語

1. 学習のねらいと使用教材

学習のねらい	○外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。 ○外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 ○聞くことや話すことなどの実践的なコミュニケーション能力の基礎を養う。
使用教材	教科書：NEW CROWN（三省堂） 補助教材：Miki Notebook（浜島書店） / エイゴラボ（正進社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	- 忘れ物をせず、授業の準備物が机の上に用意されている - 大きな声で音読し、意欲的に授業に参加している - 提出物を期限を守って、きちんと提出する - ペアワーク・グループワークに積極的に取り組んでいる - プリントの管理ができています	- 準備物・提出物の状況 - 授業中の観察・クラスルームイングリッシュおよび挙手・発表の様子 - 会話練習・コミュニケーション活動の様子 - 単語テストの取り組み - 授業中のプリントへの書き込み
②表現の能力	- 相手の話に、相づちをうちながら聞くことができる。 - 少し長めの自己紹介を話したり、書いたりすることができる。 - 道案内をすることができる。 - 相手の体調を気遣うことができる。 - ある事柄の説明を、絵や写真をみながらすることができる。 - ある主張に対して、自分は賛成か反対かを、自分の立場を理由を含めて書くことができる。	- 定期テスト - ALT との会話テスト - 授業中の観察 - 会話練習 - コミュニケーション活動 - 授業中の Q&A - 授業中のプリント
③理解の能力	- 長めの自己紹介の文を聞くことができる。 - 道案内を聞くことができる。 - 少し長めのインタビューを聞くことができる。 - 公共のアナウンスで、必要な情報を聞き取ることができる。 - まとまりのある、長文を読むことができる。	- 定期テスト - 授業中の観察 - リスニングテスト - 授業中の Q&A
④言語や文化の知識・理解	1つの場面に対して、複数の英語表現を表すことができる。 - 単語を正しく読んだり、書いたりする力をつけることができる。	- 定期テスト - 授業中の観察 - 授業中の Q&A - 単語テスト

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1 学 期	Lesson1 “My Favorite Words” ・受け身（復習） Let's Talk 1 道案内をしよう “Could you tell me ～?” Lesson2 “France - Then and Now” Let's Talk 2 どうしましたか “What's the wrong?” Lesson3 “Rakugo Goes Overseas” Lesson4 “The story of Sadako”	・2年生で学習した内容を使って表現できる。(①②④) ・受け身の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) ・道順を尋ねたり、説明できる。(①②③④) ・現在完了形（継続用法）の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②④) ・病状についてたずねたり、説明したりする(①②③④) ・現在完了形（経験用法、完了用法）の形・意味・用法を理解し、表現できる。be glad to ～の表現を理解する。(①②④)
2 学 期	Let's Talk 3 買い物をしよう “Would you～?” Let's Read 1 Dolphin Tale Lesson 5 “Places to Go, Things to Do” Lesson 6 “I Have a Dream.” Let's Talk 4 玉子料理はいかがですか。 “Would you like～?” Lesson7 “English for Me”	・call/make+A+B/ I t is ～for A to... の使い方。分詞の形容詞的用法について理解し、表現する。(①②④) ・提案したり、承諾する。断り方。(①②③④) ・物語を読んで、場面の展開を読み取ることができる。(①③) ・関係代名詞（主格、目的格）の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) ・現在分詞、過去分詞の後置修飾、接触節の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) ・食べ物や飲みものを丁寧にすすめたりする(①②③④) ・want+A+to... /間接疑問文の形・意味・用法を理解し、表現できる。(①②③) ・ていねいに依頼・承諾する。繰り返すことができる。(①②③④)
3 学 期	Let's Talk 5 電話をしよう “Could you～?” Let's Read2 We Can Change Our World Let's Read3 The Story of Nishikori Kei	・物語を読んで、場面の展開を読み取ることができる。(①③) ・物語を読んで、場面の展開を読み取ることができる。(①③)

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・大きな声で発音練習や音読をする(発音が分からないものはカナをふり、読めるようになったら消す) ・ペアワーク・グループワークでは積極的に取り組む(ポイントとなる表現を意識して練習) ・分からない単語は常に辞書を引く。調べた単語は正の字を書いて何回調べたのか分かるようにしておく ・積極的に ALT の先生に話しかける
	家 庭	・be 動詞の文か、一般動詞の文かを常に意識しながら英文を読む。(be 動詞と一般動詞の違いを区別できるように) ・習った文法事項を教科書で線を引き、主語を変化させるなどして同じパターンで何回も音読しながら書く ・教科書の英文の意味が掴めるかを確認する。できないものは翌日質問する。 ・意味が掴める英文を何度も音読する